

会長のページ	令和8年 診療報酬改定に思う	河野 雅行	3
日州医談	「かかりつけ医機能報告制度」について	山中 聡	4
就任挨拶	教授就任挨拶	緒方 大	6
随 筆	高木兼寛が遺した医療哲学－EBM, MCT, そしてACP－	濱川 俊朗	8
	そのきっかけは ～ビーズ・カドマツ・ユーロ・ミセス～	山田 琢也	10
	医療と物価 その1	谷口 二郎	12
	延岡西日本マラソンとタパス	石橋 俊秀	14
旅 行 記	令和8年正月, 冬籠りの旅		
	－ My visit impression of Kurashiki, new year 2026	北村 和生	16
エコー・リレー (607)		西本紘嗣郎, 中平 孝明	21
メディアの目	AIはツール? 友達? ～依存しそうになり考えたこと	今村 史子	22
身近なお困りごと相談室		高山 桂	23
国公立病院だより	美郷町国民健康保険西郷病院	外山 宗樹	30
宮崎大学医学部だより	機能制御学講座－薬理学分野－	武谷 立	32
専門分科医会だより	外科医会	白尾 一定	33
診療メモ	病院医療と在宅医療をつなぐ視点	井上 正浩	68
宮大医学部学生のページ	部活動紹介 ～準硬式野球部～		
	宮崎大学医学部準硬式野球部の魅力と挑戦		
	——人とのつながりが生む成長と感動	有川 悠斗	70

表彰・祝賀			18
あなたできますか? (令和6年度医師国家試験問題より)			20
宮崎県感染症発生動向			24
日赤だより			27
各郡市医師会だより			28
九州医師会連合会第426回常任委員会			34
九州医師会連合会第130回臨時委員総会			35
九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会			36
第125回九州医師会総会・医学会			38
日医インターネットニュースから			42
医師協同組合だより			44
ベストセラー			45
会員の異動・変更報告			46
理事会日誌			48
県医の動き			52
ドクターバンク情報			53
行事予定			57
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会			59
あ と が き			78

お知らせ	脈の日 (3月9日) 関連企画		
	「かくれ心房細動ゼロ!! 作戦: 宮崎県民一斉検脈月間 (3月)」ご協力をお願い		7
	医師年金ご加入のおすすめ		39
	医療事故調査制度相談窓口		45
	勤務医・研修医の先生へお知らせ～春の異動シーズンに備えて～		63
	郡市医師会への送付文書		72
	宮崎県医師会メーリングリストのご案内		75
	医療勤務環境改善支援センター		76
	日州医事原稿募集のお知らせ		77

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：油絵〕

月と蝶

春近し。朝（あした）にはうらかな陽気に誘われ舞い立つ蝶も、夕間暮にはたゆたうて月影に召される。速見御舟の「炎舞」（真っ赤にゆらぐ炎に向かって群れ飛ぶ蛾）と見紛う。

何故今もって「一銭にもならん」心象画を描くのか。ネオテニー的性格（幼形成熟）が災いしているのかも。「七重八重 花は咲けども山吹の実のひとつだになきぞ悲しき」が言い得て妙か。ハイ。

なが ぬま こうざぶろう
延岡市 長 沼 弘三郎

会長のページ

令和8年 診療報酬改定に思う

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

最近の物価高、人件費高騰などにより医療機関（付属した介護施設を含めて）は公立私立を問わず多くが赤字経営で閉院する例も増えていきます。地域医療の崩壊につながるとして、日医を先頭にさまざまな場面で改善を訴えてきました。今まで長期にわたり「誤った解釈の適正化」のもとに圧縮され続けてきた診療報酬を「本当の意味での適正化」に戻す必要があります。高市首相は施政方針演説で医療機関の救済を述べられましたので、今回の診療報酬は大幅な増加が期待されていました。

昨年12月には医療機関の窮状を鑑みて高市首相の英断で、国の補正予算による賃上げ・物価上昇に対する支援事業（医療・介護等支援パッケージ）が実施されることとなりました。日医の要望に近く1兆円余となり一息をつくことが出来そうです。もっとも現時点では決定のみで実際の交付は後日になります。この支援パッケージは時宜を得たものであり大変ありがたいものです。ただ、病床1床あたりの補助が病院と有床診療所で大きな差があり、厚労省によれば、病院と有床診療所の収支データ分析の結果であるとの説明ですが、釈然としません。

その後、令和8年の診療報酬改定は本体3.09%のプラス改定となりました。全体としては2.22%のプラスで、全体のプラス改定は10数年ぶりであり、本体の3%以上の改定は何と30年来の珍事だそうです。一部では、現状からすれば10%以上は増やさないと経営が維持できないとの声もありました。それでもこれは日医が総力を挙げ医療関係者がこぞって協力した取り組みの結果であり、日医松本執行部の大きな功績です。国でも地域医療の逼迫した状態を理解していただいたものと思われる。欲を言えばキリがありませんが、長年にわたってのマイナス改定による結果を解消するには十分ではありません。さらに、今回の改定は物価高や人件費高騰に備え、本体は2026年度がプラス2.41%、2027年度がプラス3.77%と2段階の改定にはなっているものの、2年間はそのまま変わらず現在の物価・人件費高騰の流れから推定すれば直に不足することは目に見えています。期中改定や、適時の補助対応が必要です。

地域医療は安心した生活には不可欠です。現体制を作り上げるのは長期間を要した結果であり、生半可ではできません。壊れてしまえば復帰は至難の業です。医療のない地域には人は住めません。人口維持のためにも現体制を維持のみではなく、さらに発展させる努力が官民ともに必要です。

(令和8年2月16日)

日州医談



「かかりつけ医機能報告制度」について

宮崎県医師会 理事 やま なか さとし
山 中 聡

令和7年度より開始された「かかりつけ医機能報告制度」は、本年2026年3月を迎え、制度運用における最初の大切な節目を通り過ぎようとしています。本制度は、特定機能病院を除くすべての医療機関が対象となる国の制度であり、地域における医療の役割分担を明確にすることで、限られた医療資源を有効に活用するための基盤となるものです。本稿では、制度の核心である「日本医師会かかりつけ医機能報告制度にかかる研修」の内容を中心に、報告項目の中で重要視される医師の配置指標や、その実務上のポイントについて解説いたします。

1 制度の目的：地域を「面」で支える体制の証明

この報告制度の最大の目的は、特定の医師一人が患者さんのすべての健康問題を抱え込む「点」の医療から、地域の多様な専門医が連携して患者さんを支える「面」の医療体制へと、社会的な認識を転換させることにあります。

日本の医療の強みは、身近な地域に高い専門性を持つ各科の診療所が存在し、患者さんが自身の判断で最適な医療機関を受診できる「フリーアクセス」にあります。この優れた仕組みを維持しながら、高齢化に伴う複雑な健康課題に対応するためには、あらゆる診療科の医師がそれぞれの専門性を発揮しつつ、地域の中で緩やかに連携し合うことが不可欠です。本制度は、そうした「面」としてのつながりが地域に

どの程度存在するかを、客観的なデータとして可視化するために創設されました。

また、将来的に「かかりつけ医機能がある」として報告していない医療機関に対し、国が不利益を課す可能性も排除できないため、会員の皆様には積極的な報告が推奨されています。

2 報告内容の一つである研修修了者の有無

報告は、国が運営するG-MIS（医療機関等情報支援システム）を用いて行われます。報告項目の中には、医療機関の機能を客観的に評価するための指標として、「かかりつけ医機能に関する研修の修了者の有無」を問う項目が含まれています。厚生労働省のマニュアルでは、該当する研修として以下の選択肢が示されています。

- 1：日本医師会生涯教育制度
- 2：日医かかりつけ医機能研修
- 3：日本医師会かかりつけ医機能報告制度に係る研修
- 4：全日本病院協会総合医育成プログラム
- 5：日本病学会病院総合医育成プログラム
- 6：その他研修

特に「3：日本医師会かかりつけ医機能報告制度に係る研修」は、日本医師会がこの報告制度に合わせて、会員が円滑に報告できるよう昨年4月に創設したものです。

3 混同しやすい「2つの研修制度」の違い

現在、現場では名称が似ている2つの研修制度の区別が分かりにくいという声が多く聞かれ

ます。

・日医かかりつけ医機能研修（従来の研修）

平成28年に開始されたもので、かかりつけ医としての質の向上と、海外のような強権的な受診制限（ゲートキーパー制）を牽制する目的があります。修了には60単位の生涯教育講座や10時間の応用研修および実地研修が必要で、非常に高いハードルが設定されています。

・日本医師会かかりつけ医機能報告制度に係る研修（新しい研修）

今回の報告制度のために要件が大幅に緩和された研修です。座学研修と実地研修を合わせて合計10単位以上を取得していれば修了可能です。

なお、今年度（2026年1月～2月報告分）に限っては、特例として「1：日本医師会生涯教育制度」の単位を0.5単位以上取得していれば、研修修了者「有り」として報告することも認められています。

4 実地研修の内容と申請の実務

日本医師会は、学校医や産業医、在宅当番医といった地域に根ざした活動を高く評価しており、できるだけ多くの会員に実地研修を伴う「2：日医かかりつけ医機能研修」または「3：日本医師会かかりつけ医機能報告制度に係る研修」を修了していただきたいと考えています。

実地研修の具体例

実地研修として認められるのは、以下のような地域貢献活動です。

- ・学校医、産業医、警察医としての活動
- ・休日・夜間の在宅当番医や救急医療への協力
- ・予防接種や各種健診の実施
- ・多職種連携（介護保険の主治医意見書の作成、会議出席など）

申請の手順：MAMISからG-MISへ

研修の修了申請と国の報告制度は、使用する

システムが異なるため注意が必要です。

1. MAMISでの修了申請：まず、医師会会員情報システム（MAMIS）上で研修の修了申請を行います。システム操作が苦手な方は、紙媒体での申請も可能で、郡市医師会による代理入力も受け付けています。

2. 承認と修了証発行：所属郡市医師会での確認・承認を経て、MAMIS上で修了証が発行されます。

3. G-MISでの県への報告：研修修了者「有り」として、国（宮崎県）の報告システム（G-MIS）で最終的な報告を完了させます。

5 医療の「可視化」が持つ戦略的な意義

なぜ、これほどまでに研修や報告が重視されるのでしょうか。それは、日本の医療の宝である「フリーアクセス」を守るための「情報の盾」となるからです。

もし我々がこの報告制度を軽視し、地域での連携実態を証明できなければ、医療費削減を目的とした「登録制」や「人头制」といった強権的な制度変更を許すことになりかねません。先生方が自身の専門性を活かしつつ、地域活動（実地研修）に協力している実態を「可視化」することは、自由な診療環境を次世代へ引き継ぐための強力な根拠となります。

結びに

2026年3月、本制度を通じて収集されたデータは、今後、それぞれの地域で将来の医療体制を議論する際の重要な基礎資料となります。

「自らの専門性を活かしつつ、地域という大きなネットワークの一員として機能する」。その姿勢を研修の修了という形で明確に示すことは、地域住民からの信頼をさらに深めることにつながります。先生方の日常の献身的な活動が、この報告制度を通じて正当に評価されるよう、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

就任挨拶



教授就任挨拶

宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 皮膚科学分野 教授 ^お緒 ^が方 ^だい

2025年11月より、宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 皮膚科学分野の教授を拝命いたしました緒方大と申します。宮崎県医師会の先生方にこの場をお借りいたしましてご挨拶申し上げます。

私は宮崎大学附属病院の産婦人科で生まれ、宮崎西高を卒業するまでの18年間をこの宮崎の地で過ごしました。2005年に鹿児島大学医学部を卒業し、初期研修医制度が始まって2年目に福岡県の飯塚病院で初期研修を行い、3年目は同病院の皮膚科（当時は熊本大学の関連でしたが、現在は九州大学の関連病院）で研修を行いました。飯塚病院は三次救急を受け入れる病院で、皮膚科は私を含め4人体制でしたが、コモディーズから全身熱傷・重症感染症までを対応する先輩方の背中から、皮膚科の幅広さに魅力を感じて皮膚科を志しました。当時は手術に興味があり、手術をするなら皮膚がん治療を勉強しようと考え静岡がんセンターに皮膚科レジデントとしてお世話になりました。今では皮膚がん治療も進歩し、免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬が使えるようになりましたが、それもほんの10年前のことですので、当時はまだ手術治療以外になかなか有効な治療がありませんでした。静岡がんセンターでは形成外科・耳鼻科・整形外科・泌尿器科など皮膚がん治療に関連する診療科を回り、早い時期に手術手技を身につけることができ、非常によい経験をさせてもらいました。また、メラノーマをはじめとする皮膚がんに対して、診断から治療、そして緩和ケアまでを一貫して責任をもって診療するという心構えも教えていただきました。

レジデント終了後、当時の部長の勧めにより

埼玉医科大学皮膚科へ入局し、土田哲也教授のもとで8年間お世話になり、そこであらためて皮膚科医としての基本を身につけさせてもらえたと感じています。その後はMDアンダーソンがんセンターメラノーマ部門への留学、国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科での勤務を経て、このたび宮崎大学皮膚科に赴任することとなりました。これまでの医師として歩んだ道を振り返ると、自身の意志によるところもありますが、それ以上に人との出会いやめぐり合わせが今の私をこの道に向かわせてくれたのではないかと感じています。

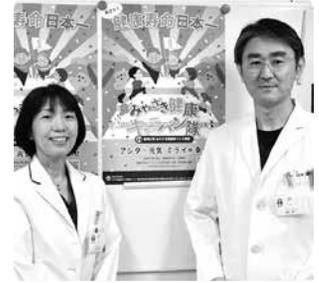
宮崎県は人口が多い県ではありませんが（九州では佐賀の次に少ない）、それでも皮膚科医の充足率が十分とは言えず、またどの県・地域でも叫ばれていることですが皮膚科医そのものの高齢化も進んでいる現状があります。今回28年ぶりに生まれ育った宮崎に戻り、皮膚科学教室を運営させていただくことになりましたが、若く臨床能力に優れた皮膚科医を数多く育てることが、私に課せられた使命の一つであると感じております。初代井上勝平教授、第二代瀬戸山充教授、第三代天野正宏教授と受け継がれた宮崎大学医学部皮膚科学教室の伝統を引き継ぐとともに、私の国内の各施設そして海外での経験を融合させ、よりよい皮膚科教室の運営と宮崎県の皮膚科医療の充実に貢献していきたいと思っております。そのためには宮崎県医師会の先生方との風通しのよい心の通ったお付き合いが不可欠であると考えております。若輩の身ではございますが、何卒よろしく願いいたします。大学皮膚科の役割として必要なことがございましたら、ご指導いただけますと幸いです。

お知らせ

脈の日（3月9日）関連企画

「かくれ心房細動ゼロ!! 作戦：宮崎県民一斉検脈月間（3月）」ご協力をお願い

宮崎大学医学部 循環動態生理学分野 教授	わた なべ のぞみ 渡 邊 望
宮崎大学医学部 循環器腎臓内科学分野 教授	かい きた こういち 海 北 幸 一



心房細動から生じる脳梗塞を予防するため、3月9日は「脈（みやく）の日」、3月9日から3月15日は「心房細動週間」として全国で心房細動の早期発見に向けた啓発活動が展開され、宮崎県庁もこの週は赤くライトアップされます。

宮崎大学みやざき健康キャラバン隊では2023年から自己検脈や心電図モニターチェック・健診受診勧奨を進め、県内各地のイベントやFMラジオなどを通して「自分で防ごう脳卒中」というメッセージを届けています。今年の3月にはキャラバン隊×FM宮崎×月刊パームスによる啓発活動と連動し、県内自治体や企業・団体などの協力を得て宮崎県全域で「宮崎県民一斉検脈月間」を繰り返します。

この機会に無症状の心房細動に気づき、心臓内血栓形成による重症脳卒中発症を防ぐことが目的です。

自己検脈で不整脈に気づいた県民のみなさまは、主にかかりつけ医や地域の一次医療機関を受診されることになります。脈が乱れていても必ずしも心房細動ではなく、治療不要・経過観察の場合も多くあるかと思われませんが、本キャンペーンの趣旨をご理解いただき、心電図の記録・専門医へのご紹介などご対応のほどお願い申し上げます。

みやざき健康キャラバン隊では歩数増加のためのオリジナルソング あるこうや♪などさまざまな活動を展開中です。医師会員の先生方と連携し、健康寿命延伸を実現したいと思っております。

自分で防ごう 脳卒中 「かくれ心房細動」ゼロ!! 作戦

みやざき健康キャラバン隊

宮崎県民 3月1日から3月31日 一斉検脈月間

不整脈が原因で脳卒中になることをご存じですか？心房細動とは脳卒中に繋がる怖い不整脈。心房細動により、心臓で出来た血栓が脳の血管を詰まらせて脳卒中を起こします。でも、心房細動が原因の脳卒中は防ぐことができます！その予防方法のひとつが脈のセルフチェック。自己検脈で脳卒中を予防しましょう！

やってみたい？ 自己検脈

● 自己検脈のやり方

① ② ③

● 正常な脈 (一定のリズム)

● 心房細動 (脈がバラバラ)

▲ 脈の乱れがある方は、かかりつけ医もしくはお近くの売場にご相談ください。

④ 宮崎大学みやざき健康づくり構想



←HPはコチラ：
カラーポスターダウンロードもできます

随 筆

高木兼寛が遺した医療哲学－EBM, MCT, そしてACP－

EBM (Evidence Based Medicine, 根拠に基づく医療), MCT (Multidisciplinary Care Team, 多職種連携, チーム医療), ACP (Advance Care Planning, 人生会議)

宮崎市 潤和会記念病院 ^{はま} ^{かわ} ^{とし} ^{ろう}
濱 川 俊 朗

ロンドンのテムズ川の岸辺にセント・トーマス病院がある。ここは近代看護の母フローレンス・ナイチンゲール(1820-1910)がその理念を具現化した地であり、そして極東の島国からやってきた若き医師である高木兼寛(1849-1920)が、英国医学の真髄を咀嚼し吸収した場所でもある。

一般に「ビタミンの父」や「麦飯男爵」と知られる高木であるが、その功績は単なる栄養学的な知見に限定されるものではない。一世紀以上に彼が打ち立てた医療哲学を紐解けば、そこには現代のパラダイムであるEBM (Evidence Based Medicine) の萌芽, MCT (Multidisciplinary Care Team) の創始, さらにACP (Advance Care Planning) への道標が、驚くべき先見性をもって内包されていることが理解できる。

薩摩の侍とイギリス医学

薩摩藩日向国諸県郡穆佐郷(宮崎県宮崎市高岡町穆佐)の大工兼郷土の家に生まれた高木は、激動の幕末を生きた。漢方医を目指していた彼の運命を変えたのは、戊辰戦争(1868-1869)での英国人医師ウィリアム・ウィリス(1837-1894)との出会いである。当時の日本で主流になりつつあったドイツ医学が「研究室での理論」を重んじたのに対し、ウィリスの実践する英国医学は徹底して「臨床と実証」に基づいていた。目の前の患者を救うために何が必要か、その実利的な精神に触れた高木は、海軍軍医としてセント・トーマス病院医学校へ留学する(1875-1880)。

彼が学んだのは単なる外科手術の技術だけではない。ジェームス・リンド(1716-1794)の壊血病の原因やジョン・スノウ(1813-1858)

がコレラ流行の原因を突き止めた疫学的手法、そしてナイチンゲールの看護学さらに統計を学んだと考えられる。彼は優秀な成績を修め、伝統ある「チェゼルデン・金メダル」を受賞し、日本人初の英国王立外科医師会会員となった。しかし、彼が持ち帰った財産はメダルだけではない。

I. EBMの萌芽——脚気撲滅と航海実験

1880年に帰国した高木を待っていたのは、日本海軍を危機に陥れていた脚気であった。当時、原因不明の難病とされた脚気に、陸軍や東京大学を中心とするドイツ医学派は「未知の脚気菌による伝染病」説を固持していた。

しかし、高木はセント・トーマスで培った疫学的手法を用い、海軍内の膨大なデータを分析した。そして「士官に少なく、兵卒や囚人に多い」また「食事の内容に偏りがある」という事実から、「窒素(タンパク質)と炭素(炭水化物)の比例不均衡」が原因という仮説を導き出した。これは現代栄養学から見ればビタミンB1欠乏症であり、彼の「タンパク質不足説」は厳密には誤りであったが、「白米偏重の食事が原因である」という疫学的推論は真実を突いていた。

1884年、高木は歴史的な介入実験を行う。練習艦「筑波」を用いた航海実験である。前年の練習艦「龍驤」が白米中心の食事で航海し、乗組員376名中169名の脚気患者と25名の死者を出したのに対し、「筑波」では麦飯や肉、牛乳を取り入れた洋食(改善食)を採用した。結果は筑波での脚気発生はわずか14名、しかも彼らは支給された改善食をこっそり食べなかった者たちであった。死者はゼロだった。この「筑波艦実験」こそは、世界医学史上における最初

期の大規模臨床試験であり、高木がEBMの偉大な先駆者であることを証明する決定的な事実である。

艦名/実施年(年)/食事/総員(名)/脚気患者(名)/死亡者(名)

龍驤/1883/白米中心/376/169/25.

筑波/1884/洋食・麦飯/333/14/0.

一方、陸軍軍医部を率いた森鷗外（森林太郎）らは、この統計データを「学理（実験室での証明）がない」として認めず、日露戦争においても白米食を堅持した。その結果、海軍では脚気患者が105人で死者はごく僅か（ほぼゼロ）であったが、陸軍では約25万人もの患者が発生し、戦死者4万7,000人の半数以上に匹敵する2万7,800人が「病死」という悲劇を招いた。ドグマや机上の理論ではなく、臨床現場のデータすなわちエビデンスに従うことの重要性を恐ろしいほどに対比させている。

これは「生物学的なメカニズム（当時は細菌、現代では分子機序など）が完全に解明されていなくとも、疫学的な介入効果が確認できれば、患者の生命を守るためにその介入を採用すべきである」という原則を表している。高木は、理論よりも目の前の「生存」というアウトカムを最優先した点で、真の臨床家であった。

II. MCT（多職種連携，チーム医療）の創始——看護婦教育所を設立

高木の改革は食事だけに留まらなかった。彼はセント・トーマス病院に併設されたナイチンゲール看護学校の活動を目の当たりにしている。医師の治療だけでなく、清潔な環境と献身的なケア（看護）があって初めて患者は回復する。この「療養環境論」は彼に深い感銘を与えたと考える。

当時の日本では、看護は家族や雑用係が担うものであり、専門職としては認識されていなかった。高木は「医師と看護婦は車の両輪の如し」と説き、1885年、有志共立東京病院（東京慈恵会医科大学附属病院）に日本初の看護婦教育所を設立した。彼は米国から看護宣教師メアリー・E・リード（1854-1943）を指導者として招き、看護師を医師の下請けではなく、独自の専門性を持つパートナーとして育成しようとした。

これは現代におけるMCTの源流にほかならない。医師、看護師、そして栄養に関わるスタッフが、それぞれの専門性を活かして患者を支える。宮崎県高岡町から出た医師が、イギリ

ス留学を経て19世紀の東京で現代医療が目指すチーム医療の礎を築いていた。

III. ACP（人生会議）への道標——「病気を診ずして病人を診よ」

高木が遺した哲学に「病気を診ずして病人を診よ」がある。これは現在、東京慈恵会医科大学の建学の精神となっているが、この言葉を現代的に解釈すれば、それはまさにACPの精神そのものである。

当時の主流であったドイツ医学が「疾患」のメカニズム解明と臓器の修復に注力したのに対し、高木は「病を持つ人間」そのものに向き合った。彼は脚気の調査でも、単なる栄養素だけでなく、兵士の生活環境や精神的ストレスなどの社会的要因にも目を向けていた。これは、後にシシリー・ソンドース（1918-2005）が提唱する「全人的苦痛」の概念を先取りするものであったと言える。

ACPとは、患者が人生の最終段階においてどのような医療やケアを望むか、その価値観や人生観に基づいて対話を重ねるプロセスである。高木が貧困者のために設立した施療病院の精神、そして患者の生活背景までを診ようとした態度は、患者の「物語（ナラティブ）」を尊重する現代の緩和ケアやACPの思想と深く共鳴する。彼は医学的な「正解」を押し付けるのではなく、その人がその人らしく生き、そして逝くための支援こそが医療の本質であると見抜いていた。

IV. 時を超えた高木兼寛のメッセージ

高木は1920年に70歳でこの世を去った。南極大陸には英国南極地名委員会によって彼の名を冠した「高木岬（1959年，Takaki Promontory，南緯65度33分/西経64度14分）」があり、功績は世界の医学史に刻まれている。しかし、われわれにとって重要なのは、彼が現代医療の進むべき道を照らしているという事実である。

EBMによって科学的事実に基づき治療を行い、MCTによって組織的にチームで支え、そしてACPの精神で患者の人生に寄り添う。これらは別々の概念ではなく、高木という一人の医師の中で、「人間愛」と「科学的合理性」が融合し医療哲学として統合された。一世紀前に彼が遺した「病人を診よ」という言葉は、AIや高度な医療技術が進化する現代においてこそ、全ての医療従事者が立ち返るべき原点であると考えられる。

随 筆

そのきっかけは ～ビーズ・カドマツ・ユーロ・ミセス～

宮崎^{やま}市 山^だ田^{たく}琢^や也

皆様は何かハマった（今風に言えば沼ることになった）きっかけ・経緯をはっきりと記憶・説明し得るものと、そうでないものとおありではないだろうか？今回はそういった話だ。ここでは、ビーズは飾り玉でなくB'z、カドマツは正月飾りの門松でなく角松 敏生（かどまつ としき）、ユーロは欧州通貨でなくサッカーのヨーロッパ選手権、そして、ミセスは既婚女性でなくMrs. GREEN APPLE（ミセス グリーンアップル）のことだ。書き物をするとなら場合どうしても音楽やスポーツの話が多くなる。短編形式だ。最近読んだ東京百景（又吉直樹）の影響を受けた。太宰 治の東京八景を連想するが、太宰ファンを公言する又吉氏が意識して上梓した著書だ。サブタイトルの4つのワードは、語感的にも、後に2人登場する“Nくん”の流れからも、この並びにした。

ビーズ

大学3年のとき、Nくん（漕艇部。現在は県外で外科医として活躍中）から「山田あ、もし市内に行く用があったら、ミスミクラブ（※当時宮交シティ近くに在ったCDなどレンタルショップ）にコレ返却しちよってくれん？」と言われ、今となれば用事があったのか、あったならどんな用だったのかも思い出せないが、その時は二つ返事で快諾した。返す前に、ひとが借りたものをこっそりあけてみたのと、レンタル料（当時300円くらい）払わずして聴いたという2つの軽いギルトが引っ掛かるが（まあそれはいいだろう）、それがB'zの『RISKY』というアルバムだった。聴いたが最後、そこから一気に、以後36年も続くB'zファンになってしま

うのである。

松本さんの織りなすカッコイイ楽曲、ギターに、稲葉さんの語彙力豊富で見事なまでに巧い歌詞、魅力的なボーカル、パフォーマンス。新アルバムが出たと言え、（これがだいたい発売日が水曜日で水曜は当時）西村楽器店が定休日1日待たばいいものを待ちきれず、これも当時どうやって聞きつけたのか、市内船塚にある黒木電器商会というお店にわざわざ購入しに行ったし、『WHAT'S IN』（※現在は廃刊）など音楽雑誌にB'z特集が組まれたり表紙になったりしようものなら迷わず買った。

ライブに足を運ぶのはいろんな意味で難しくなったが2023年にはデビュー35周年で地上波やWOWOWでB'z特番がいろいろ組まれたので保存版とばかりに録画してある。2024年の紅白歌合戦では、収録シーンかと思わせてからのご本人らがLIVE登場し、その一年で一番と言っているほど興奮した。

本誌読者でB'zファンの皆様、好きな曲を一曲だけ選ぶなら？と問われるとホントあり過ぎて難しいかもしれないが私は「RUN」を選ぶ。

カドマツ

先ほどのNくんとは別のNくん（軽音楽部。現在は県外で病理医として活躍中）を登場させる。時は前後するが、大学1年の時、Nくん含め同期が集まり角松 敏生の音楽のアレがいいコレがいいという話が出た。その集まりとは別で、角松ファンという女子たちの存在もあった。こういうことを書いていると、なんだか西 加奈子の小説の世界観みたいだなあと思えてくる。

そんなこんなで角松のCDで最初に入手した

のが『T's BALLAD』というアルバムで、一人暮らしを始めて目覚ましの音楽にしていた。気持ちを奮い立たせて授業に向かわなければいけなかったり、あるいは気合いを入れてテニスコートに向かわなければいけなかったりするのに「Still I'm Love In With You」や「Wave」といった壮大な楽曲に聴き入ってしまい一人悦に入る自分がいた。

ユーロ

さて、この2番目のNくんはサッカーも詳しく、卒後3年目の病院で同僚となったとき、欧州サッカーの話をよくしてくれた。ドイツにはクリンスマンがいて…フランスにはジョルカエフがいて…デンマークにはシュマイケルがいて…といった具合に。

ヨーロッパ選手権1996があったところで、私もともと高校サッカーや元旦の天皇杯の決勝とかが好きで観てたが、このNくんのお陰で海外、特に欧州のサッカーに詳しくなっていくことになる。ユーロ1996総集編のVHSビデオテープを入手したりもしたが、スポーツ新聞の広告をみて購入したもので、今考えたら騙されずにちゃんとした品が届いたのは運がよかったと思う。

ユーロ2004では、フィーゴ、ルイコスタといった面々にクリスチアーノ ロナウドがまだ若手のころのポルトガル推しで、深夜（というのか未明というのか）3:45に目覚ましをセットして観るという習慣は、このころについた。歳を食い今ではアラームなしでも起きる。

豪華な陣容を擁しながらも万年優勝候補ではないかというぐらいタイトルに届かなかったころのスペインもファンだった。どうやら私は、覇権をどうしても握れない悲運の、かつスペクタクルなサッカーをする国代表が気になる傾向にあるようだ。その後タイトルを獲ったり一時代を築いたりしたあとも、このイベリア半島の両国のファンであることは続いている（※スペインは2008～2012にユーロ、W杯、ユーロと主要国際大会を3連覇、2024にもユーロ奪冠、ポルトガルは2016ユーロ制覇）。

往年の名選手が監督になったり、2世選手が活躍しているのに気付くと感慨深いものがある。いくつか例を挙げると、いずれももう退任しているが、シャビがFCバルセロナの監督に

なっていたり、マンチーニがサウジアラビア代表を率いていたたり、クリンスマンが韓国代表を率いていたのを目にした時は驚いたし、シュマイケル（スコットランドのセルティックFC所属/デンマーク代表）は、やはりあのシュマイケルを父に持つ選手だった。

さあ今年ワールドカップの年だ。グループステージ組み合わせはすでに決まった。もちろん日本には上位進出してもらいたいのだが、せっかくの大舞台なので普段対戦機会がなく、かつ過去にW杯で顔を合わせたことのない欧州の強国、今大会ならハーランド、ウーデゴール擁するノルウェーあたりとグループ同居になってもいいから対戦観たいなあと思ったりもした。

ミセス

ミセスについては2019年にJ-POPの名曲で検索したら「鯨の唄」（※曲自体は2017年リリース）などが引っかかってきて聴いていたのでちょこっとは知っていた。ただそれ以上は深掘りすることなくミセス自体も活動休止に入っていた。その4年後から3年連続で日本レコード大賞を獲り、日本の音楽界を席卷するようなグループになるのを予見していたなどということが言いたいのではない。私はそんな音楽的センス・見識や先見の明も持ち合わせてはいない。

コロナ禍だった2022年春、朝の通勤時にJOY FMのミュージック リマークというラジオ番組で、ミセスが2年近くぶりに活動再開したということで新曲が流れたのだ。またそれより少し前、家内が観ていたアニメのタイアップ曲でTOMORROW X TOGETHER（トゥモロー・バイ・トゥギャザー）の「Force」という楽曲がカッコよく、どうやらミセスの大森さんが手がけたものだという。そのあたりからミセスにもハマる。なので、こちらはまだ歴としては浅い。

きっかけというものが必ずしもただの一度というわけではなく、二段階、三段階的に、言い方を換えれば、中島みゆきの歌ではないが、ファーストコンタクトが縦の糸、次の転機が横の糸というようなこともあるのだ。そう考えると面白い。人生って不思議なもの、嬉しいもの。まさしく美空ひばりの「愛燦燦」の歌詞だ。本稿で一番言いたかったことはこういうことだったかもしれない。

随 筆

医療と物価 その1

宮崎市 ^{たに}谷 ^{ぐち}口 ^じ二 ^{ろう}郎

学生の時、居酒屋でバイトをしたことがある。大学が新宿にあったのでバイトの店は歌舞伎町のど真ん中。数軒の店が入るビルの2階にその店はあった。何せ日本一の繁華街。店のトイレの窓を開けると目の前には風俗店。若い女性がほとんど裸に近い恰好で休憩部屋でたむろしている。また、道路を歩いていると、若い女性をスカウトする男性が闊歩していた。しかしその中を多くの人たちが普通に往来していて、若者やカップルなどもその街をワイワイと楽しそうに歩いていた。

その店は居酒屋というより割烹に近く、一流の食材を使用していた。その食材の買い出しも仕事の一部だった。例えば秋になると料理長から「マツタケを買って来い」といわれ、近くの八百屋に買い出しに行かされていた。そうはいってもマツタケなど買ったこともないので、どういふのを買えばいいのか尋ねると「手にとってマツタケを鼻に近づけ、その香りを嗅いでこい」という。どういふことか意味が分からず確かめると「香りの強いマツタケはマツタケの香りがするスプレーが振りかけてあり、見た目はマツタケみたいだが本物じゃない」という。

どうしても判断できない時はマツタケを手を持って鼻に近づけ、強力なニオイがするのはニセモノだという。確かにそういうマツタケも売られていた。それに触れた後もそのマツタケみたいな香りが手の指にまとわりつくのである。

それはまさにマツタケというより香水マツタケと呼ぶにふさわしいマツタケで値段も安かった。しかし素人には安くて超お買い得だと思えなかった。

その店は女将さんとその息子、そして料理長の3人で切り盛りをしていた。カウンターは5、6人座れ、畳のある和室が3部屋。こじんまりした店だった。そこで配膳や皿洗いをするのである。まあ今の学生のアルバイトと内容は変わらない。

夕方5時から11時までの6時間。時給は200円。昭和46（1971）年ごろの話である。つまり1日1,200円のアルバイトだった。この店で4年間バイトをした。なぜそんなに長く続いたか？それはまかない食が2回付いてそれがものすごく美味しかったからだ。何せ買い揃えた高級食材の残りがまかないの材料になる。

しかもお客さんから「君、学生さんだろう。一杯どうだ？」とお酌も勧めてくれる。それも「高清水」という秋田の高級酒（当時は特級酒と呼ばれていた）。他の居酒屋に行かなくても、美味しい酒と美味しい料理が飲み食いできた。それで結局卒業一年前まで4年間毎週通った。

私にとっては医学的な知識より、社会的常識を知ることができ、それからの人生のベースとなった。大学では経験できないものを身につけ、本当に大切な経験だった。

その時の時給200円というのが私の金銭的な

モトになっている。何でもそれと比較してしまうのだ。そのクセは今でも抜けないで身体に染みついている。

最近全国で最低賃金の引き上げが行われた。宮崎では時給が今までの952円から1,023円と71円も引き上げられ、初めて1,000円を突破した。約10年前の2014年は677円だったので、10年間で5割も上がったことになる。驚くペースである。50年前と比べ5倍になったのである。ということは50年前は今の物価の1/5だったということになる。ラーメンが一杯180円、週刊誌130円ぐらいということだ。

50年前大学病院に入局したころ、初めていただいた給料は2万円だった。サラリーマンをしていた同級生たちは10万円近くの給料をもらっていると聞いて、とても羨ましく思ったのを覚えている。そのため医局からバイト先を紹介され、アルバイトしてようやく10万円ぐらいの収入があった記憶がある。

さて最近の物価高には驚く。全国消費者物価指数によると、前年より3%も上昇し、特に食品は8%も上昇した。その中でコメ価格は50%の上昇。一年前は5kg2,500円前後で販売されたのが、今は5,000円前後もする。安いと思えば手を伸ばすと輸入米だったり、普通は5kgで販売しているものが手に取りよく見ると4kgで売ってたり、最近では高くは買えないので2kg入りで売っているものも多い。

物価の優等生といわれるタマゴも高くなっている。一昔前までは10個入りパックが100円ぐらいで目玉商品になって客寄せに使われた。それが300円以上になっている。先日スーパーに行ったら10個入り250円で売っていたので、ほったをつまんで「本当かな？」と思いがながら信じられないくらいのお買い得だと買い求めた。家に帰ってよく見ると、普段は流通に乗らないようなSサイズの卵だった。目玉焼きにしたが、やはり一回り小さい。値段以上に気持ちが落ち込んだ。

飲料メーカー各社は、昨年10月ペットボトル飲料の主要銘柄の希望小売価格を税別180円から200円に引き上げた。その他にも食用油、ポテトチップス、牛乳、食パン、おにぎり、炭酸飲料なども軒並み値上げしている。それも1年間で何回も上がっているのだ。

外食産業も同じで、吉野家牛丼は6年前並盛税込みで380円だったのが今は498円に値上げ。その他の商品でも値段は同じなのに内容量が100g→90gと実質値上げ。見た目は変わらないが持ってみると軽く感じる。ギョーザなども1個がほんの少しだけ小さくなっていることがある。

私が一番びっくりしたのがキュウリ。いつもサラダに欠かせないので購入する。夏などは5本位ビニール袋に入り100円ぐらい。それが先日買いに行くと1本が138円。3本の間違いではないかと思ったが、1本ずつラップで丁寧に包んである。まるで銀座のフルーツ高野に並んでいるかのような値段である。いくらキュウリ大好きな私でさえ手を出せない。冗談かなと思いつつ何度見てもそうである。多分今年の酷暑と雨不足でキュウリは考えられないくらい不作だったのだろう。しかしそれにしても高すぎる。

農作物などは市場によって不作だったら高値をつけられる。生産者がその分儲かるかというところというわけではない。しかし自由に販売の人が値段をつけられるのである。いわゆる自由価格なのだ。

先日もある道の駅で農作物を販売しているお年寄りが、自分で育てたトマトに値段を書き入れたシールを貼っていた。不作のときはいつもより高い値段をつけ店頭で並べるといふ。つまり自分で自由に値段を決めることができるのだ。スーパーの店頭でも「今年は猛暑でキャベツが高くてね。安くしたいんだけど、卸値段が高いんで去年の倍以上するよ」と言っていた。

(次号に続く)

随 筆

延岡西日本マラソンとタパス

延岡市 井上病院 いし ばし とし ひで
石 橋 俊 秀

第63回延岡西日本マラソン

私は走るのが好きだ。中学生や高校生のころには駅伝に出たこともある。また、2～3年前までは10km、20kmやハーフマラソンなどの「マラソン」は出場するべきものであり、年数回出場していた。フルマラソン（走行距離は42.159km）にも挑戦したことがある。1回目は福岡県の筑後川マラソンだったが、前日の睡眠不足のため途中棄権。2回目は熊本県の上天草マラソンで、どうにか7時間弱でゴール出来た。サブスリー（フルマラソンで3時間を切ること）やサブフォー（4時間を切ること）には強い憧れを持っている。

新型コロナウイルス感染症が流行し始めたころ、競技の前日に突然マラソンが中止になったことがあった。マラソン競技は激減し、参加できる競技がなくなった。そのため練習のモチベーションが低下し、次第に練習しなくなった。今回は久々に応援者として競技に参加した。

第63回延岡西日本マラソンが令和7年2月9日(日)に実施された。このマラソンは福岡国際マラソン、別府大分マラソンと並ぶ九州三大マラソンだ。日本陸上競技連盟の公認コースで、延岡市役所前からスタートし、日向市原町を折り返し、再び延岡市役所前にゴールするコースだ。今回のスポンサーは旭化成だ。参加資格は大会当日に18歳以上で、日本陸上競技連盟に登録されていることが条件で高校生は参加できない。最終到着予定が4時間弱に設定してあることから、サブフォーでは参加が厳しいようだ。招待選手と一般選手の合計612人（うち男子574人）が参加予定と新聞紙上で紹介されていた。

8:35ジャストに先頭がスタートした（写真1）。後で写真を見直すと、優勝した湯浅選手のゼッケンは7番で、一番左端からスタートしたことが分かった。数分後に市役所を1周してきた所を見学し、その後は会場に戻ってレース



写真1：スタートの様子

の模様をモニター越しに応援した。

30km地点でペースメーカーが外れると32km付近で湯浅選手が飛び出した。2時間を過ぎると、アナウンサーが「湯浅 仁選手が独走しており、このままだと2時間10分を切ると予想される。しかし、歴代の優勝タイムを上回れるかどうかは微妙」と言っていた。

湯浅 仁選手が息も絶え絶えの様子で大勢の観客に迎えられながらゴールインした。今回の優勝タイムは2時間9分43秒で、自己ベストを一気に5分29秒も更新した。宮崎県宮崎市の出身で、大学時代は駅伝で活躍していたそうだ。3回目のマラソンで初めて栄光を手にした。第10回大会の優勝タイム（2時間9分26秒、伊福 陽太）にわずか17秒およばない歴代2位の成績だった。この成績に対して、『素直におめでとう！』と言おう。走行中の苦しそうな顔つきに対し、優勝者インタビューのにこやかな笑顔が印象的だった。

のべおかタパス食べ歩き2025

第63回延岡西日本マラソンが令和7年2月9日(日)に開催されることを「広報のべおか2月号」で2月4日(火)に知った。その紙面に「のべおかタパス食べ歩き2025」とチケット販売についての記事を見つけた。早速インターネットで予約し、翌日延岡市役所でチケット5枚セッ

ト2,500円(3,000円分の食券として使用できる)を購入した。

同時に2月7日(金)～9日(日)での参加27店舗の一覧表(略地図, 営業時間, 提供メニュー)および2月9日限定の「タパスマルシェ2025」の出店店舗リスト(延岡駅西口)をもらった。初めて知る店舗も多く, 行く前から興奮した。「タパス(tapas)」とは, スペイン語で「小皿料理」を意味し, スペイン料理の定番だ。アルダルシア地方で気軽に食べられる小皿料理のことで, ワインやお酒のつまみに, 少量ずつさまざまな種類の料理を楽しむスタイルだそうだ。「のべおかタパス」では, 地元の食材を使った各店自慢の一皿を600円で楽しめるそうだ。延岡西日本マラソンに先立ち, 「のべおかタパス食べ歩き2025」が, 2月7日(金)の17:00過ぎに始まった。

味処 国技館

2月7日の夕食に「味処 国技館」を選んだ。玄関を潜ると, 太鼓の音で出迎えられた。最初に一人でも食べられる「へべすしゃぶしゃぶ鍋」を注文した。あっさりしていて, 美味しかった。次に「タパスチケット」を提示し, 3種類のタパスの中から主食となる「ローストビーフにぎり寿司」を頼んだ(写真2)。濃厚なソースが添えてあり, 満腹になった。



写真2：ローストビーフにぎり寿司

料理処 丸金

2月8日の昼食には北浦地区の「料理処 丸金」を予約してから行った。「タパスチケット」を提示したら, 「北浦ぶち井～丸金風～」が出てきた。鮮魚がたくさん乗った丼物+味噌汁だった。あっさりして美味しかった。スタッフに, これに合う物を訪ねたら「日替わり定食」(1,100円)を薦められた。「茶碗蒸し, 刺身, 大きな煮魚, 魚のあら炊き, ひじきの混ぜ物, 大根とキュウリの御新香, ご飯」と盛りだくさんだった。その中では煮魚が一番美味しかった。刺身や汁物がかぶってしまったので, 残した。日替わり定食だけでも十分だった。

中国酒菜

2月8日の夕食に「中国酒菜」に行くつもりで調べたら, ここでは「大根もち」が食べられ



写真3：中国酒菜の大根もち

ると知った。『初めてなので, どんな餅か楽しみだなあ』と思っていた。※大根もちは, 中国広東料理の一種で, 米粉・もち米・大根と水を練った生地を四角形にし, 蒸した点心だ。飲茶の代表的な点心の一つだ。

18:30ごろ, 「中国酒菜」に行った。ここでは, 「眺めて美しく, 芳香に満ちた味は天下一品」がモットーだそうだ(色香味俱全)。タパスチケットのメニューは事前の3種類から5種類に増えていた。その中から「延岡産で作った大根もち」を選んだ(写真3)。普通のモチとお好み焼きの中間の歯ごたえがしたので, 『またこの店で食べてみたい』と思った。

タパスマルシェ2025

マラソンの観戦後, 中央通りの案内所で「のべおかタパスチケット」を追加購入した後, 自転車で延岡駅西口を目指した。そこでは, 十数店舗が出店していた。「カレー専門店ビーグルハウス」でキノコ入りのチキンカレー「NABAカレー」を注文した。本当は欧風スイートビーフカレーを注文したかったが, 現金のみと言われて変更した。他の店舗でも, 現金のみや, メニューによってチケット利用不可と言われた。チケットの優位性が少なかった。『運営側がもっと, 情報をきちんと利用者に伝えて欲しい』と思った。

「延岡野菜」「のべおか八杯汁(JAPANカレー亭)」と「NABAカレー」を揃えて昼食とし, 「延岡野菜とドイツソーセージのグルメバーガー(The Good Fellow Café)」を土産に持ち帰った。

居酒屋 らんぶ

最後にチケットが2枚残ったので, 18:00ごろ車で「居酒屋 らんぶ」に行ってみた。チケットで選べる3種類の中から「北浦産のメヒカリの唐揚げ」と「宮崎県鶏のチキン南蛮」を注文した。チキン南蛮の方が先に出てきた。卵と野菜サラダが上にかけてあった。油がギトギトしていなくてサラッとして食べやすく, 胃にもたれなかった。メヒカリの方はカラッとしていたので骨まで一気にかぶりついた。カリカリしていて美味しかった。『今度は自動車でない方法で行って, お酒もいただきたい』と思った。

旅行記

令和8年正月，冬籠りの旅 — My visit impression of Kurashiki, new year 2026

日南市 北村胃腸科眼科 ^{きた} ^{むら} ^{まさ} ^お
北 村 應 旺 (和生)

昨年後半，我が家には賑やかな行事が相次いだ。9月末，前年に結婚した長女一家に男児が誕生し鶴戸神宮にお宮参り，12月初旬には長男が福岡で挙式，加えてクリスマス前に次女が男児を出産。もう上や下への大騒ぎ。長女一家は生後2か月の乳飲み子を抱えて結婚式に出席できたが，次女一家は出産予定日が重なり出席かなわず，倉敷で正月を迎えることになった。大晦日に帰省した新婚カップルは仕事のため元旦早々に，長女一家も2日午前中に福岡に戻ることになり，その後は，なんと夫婦2人ぼっち。今年に限って，急病センター当直も在宅当番も当たっておらず，1月4日は日曜日ときた。そこで「ちょっくら倉敷まで孫の顔でも見に行くか！」と発言したところ，即決してしまった。この行き当たりばったりが我らの恐ろしいところ（2014年，2月号「わが心のイタリア」）。帰る準備をしていた長女の旦那が，スマホ片手にひょいひょいと列車の予約を取ってくれ，後戻りできなくなってしまった。「ついでに麗子にも会ってくるか」とつぶやいたのをしっかり妻に聞かれ，「れい子って誰！」頭から角が出ている…お～怖～。

さっそく次女に電話すると，勘のいい彼女は「ははん，大原美術館の麗子像ね。あの薄気味悪いやつ」とご明察。彼女が倉敷中央病院（倉中）に研修医として入職した際のオリエンテーションでこの美術館の見学が組まれ，感想文を出すよう上級医に言われた際，「麗子，いい女になったね」と書くようアドバイスしたのは私だ（もっとも中島みゆきの曲のタイトルは「怜子」）。ともあれ，2日お昼の特急“にちりん”で宮崎を出発，小倉で新幹線に乗り換え岡山に20時，さらに乗り換えて倉敷に20時半ご

ろに着く。帰りは逆ルートで新幹線を博多で乗り継ぎ鹿児島中央駅に。さらに特急に乗り換えて宮崎帰着の予定。往復で16時間超の九州一周倉敷を巡る汽車の旅だ。もっともグリーン車なので酒でも片手に読書三昧，幸せの閾値の低い我らには冬籠りの旅も悪くない。スマホで予約は取れたものの，発券はみどりの窓口でやらねばならず，正月でもあり混雑が予想されることと，切符が片道だけで4～5枚も必要になるのには閉口したが，スマホ片手で改札をくぐれるようになれば飛行機より快適かも。実際，新幹線は揺れや騒音も極めて少なく，1日でも早く宮崎まで延伸されることを切望する次第だ。

さて，途中，広島で降雪があったものの無事倉敷に着き，持参したボジョレーを皆で飲んで男児誕生と新年をお祝いした。翌日は晴天で，午前中，食材を買い出しついでに倉敷駅に帰りの発券をしに行った。倉敷駅は2階にビューローと店が並び，発券手続き後，駅裏に回ってみると，数体の騎士像が塔の周りを囲み，なんだか寂れた遊園地のような。西洋の不思議な雰囲気が気になり下に降りてみると，人魚姫のレプリカとアンデルセンの銅像があり，童話をモチーフにした公園だとわかった。「なんでアンデルセンなの？」と妻が聞くので，「倉敷といえば繊維，紡績の町。だから“編んでる織”」「先生って頭が柔軟なのね」と呆れられた。「おう，頭ん中はグッチャグチャの軟化症よ」。昼食後，マンションから15分ほど歩いて美観地区へ。7年前に家族で訪れたのは5月の連休で，人が溢れていたのだが（2019年，7月号「令和元年GW・ショートトリップ」）今回はお正月。以前より人出は少なく，お目当ての美術館は休館中で麗子に会えなかったの

倉敷川沿いのおしゃれな染物の店に入り、兼用で身に着けられるマフラーを1本購入した。

マンションに戻ると、午後4時を回っていたが、娘が倉中に案内してくれるという。歩いて5分ほどの距離だが、イタリアの地方都市を彷彿させる独特のオレンジ色の屋根を持つ一群の建築物が視認できる。正月休み中で救急外来だけが開いていたが、内部からオレンジ色の温かい照明が漏れ、正面玄関は木をふんだんに使った美術館のような雰囲気を出している。最新の医療施設にありがちな威圧感や圧迫感とは無縁だ。普段はここに2人のコンシェルジュのお嬢さんが立ち、タクシーやバスで来院される患者さんの案内や介助をしているとのこと。内部には患者さんもうがれる屋上庭園や複数のレストラン、喫茶スペース、図書室、温室、ギャラリーやアクアリウムまでであるという。職員用スペースにも手抜きがないのは立派だ。創建から建て替えや増改築が行われているにもかかわらず、その佇まいには病める患者さんへのホスピタリティ（おもてなし）とヒーリング（癒し）が溢れており、創業者の強い意志を感じた。それが守られてきたことにも正直深く感動を覚えた。

今のご時世、公的資金をつぎ込んでいる国公立病院はじめ、多くの医療機関の経営状況は地方に行くほど苦しく、マンパワー不足も深刻になってきている。もちろん、アメニティ向上は必ずしも収益に寄与しない。だが、部外者ながら、こんな素晴らしい病院は絶対に残さなくてはならないと思った。そう思わせる強い魅力があった。この春、二人はそろってここを巣立つ。両親がこの病院で出会い、ここで生まれた子どもが将来、再訪することがあるだろうか、そのとき、病院はどうなっているだろうか、思えば、感無量。その思いを胸に帰路に就く。駅舎は北へ帰る人たちで溢れていた。

♪窓は夜露に濡れて 都すでに遠のく

北へ帰る旅人ひとり 涙流れてやまず…♪

「北帰行」-唄/小林旭、旧制旅順高等学校寮歌
(こんな懐メロが口をつくのは、やっぱり汽車の旅ならでは…)

♪…Remember生まれたとき

誰でも言われたはず

耳を澄まして思い出して

最初に聞いたWelcome

けれどももしも思い出せないなら

私いつでも言う 生まれてくれてWelcome
Remember生れたこと 出逢ったこと
一緒に生きてたこと
そして覚えていること♪

「誕生」-歌・詩・曲/中島みゆき

《追記》

創業者の大原孫三郎氏に俄然興味がわき、遅まきながらその伝記を読んでみた。倉敷一の富豪の3男に生まれながら兄が次々に夭逝し、家督を継いだものの放蕩の日々の果て、宮崎とも縁のある社会活動家石井十次と出会い、その影響を受けて「余は天職のための財産を与えられた。神のために使い尽くすか、或いは財産を世のために利用すべきである」と日記に記している。劣悪であった職場（倉敷紡績）の労働環境改善に取り組み、その一環として労働者のみならず倉敷市民のため倉中を作ったのだ。「わしの目は10年先が見える」が口癖で、2つの世界大戦をはじめ襲い来る不況の波を次々乗り越え、大原奨学会で育てた画家、児島虎次郎を欧州に派遣して名画を収集させ、我が国初の西洋美術館、大原美術館を建設した。また、農業研究所をつくり、岡山名産の白桃やマスカットの生みの親にもなった。財界人ととどまらず、偉大な社会活動家であり、Philanthropistの先駆けとなった。当初、紡績業で大儲けした大富豪がその余禄で作った病院だろうと思っていた自分の不明を大いに恥じた。こんな事情がわかると、外観からだけでも人を惹きつけてやまない倉中の魅力の理由に得心する。尊敬すべき財界人が、また一人、リストに加わった。



美観地区、倉敷川ほとりで妻と。
対岸に大原本邸（重文）がある。
スマホ自撮り

表彰・祝賀

公衆衛生事業功勞により宮崎県知事表彰

すぎ	た	あらた	
杉	田	新	先生（宮 崎）
み	うら	こ	
三	浦	まり子	先生（都 城）
みぞ	くち	なお	き
溝	口	直	樹
まつ	もと	ひで	ひろ
松	本	英	裕
			先生（西 都）

令和8年1月29日、公衆衛生事業功勞により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



杉田 先生



三浦 先生



溝口 先生



松本 先生



公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

み	はら	けい	
三	原	敬	先生（宮 崎）
せ	の	より	ひさ
瀬	ノ	口	頼 久 先生（都 城）
さ	とう	ゆき	のり
佐	藤	幸	憲 先生（西 都）

令和8年2月24日、公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



三原 先生



瀬ノ口 先生



佐藤 先生

公衆衛生事業功勞により一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰

さか	もと	かず	ひさ
坂	元	一	久 先生（都 城）
の	だ		ひろし
野	田		寛 先生（延 岡）
わた	なべ	ひろ	ゆき
渡	邊	裕	之 先生（日 向）

令和8年2月24日、公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会会長表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



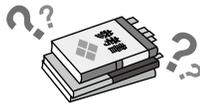
坂元 先生



野田 先生



渡邊 先生



あなたできますか？

—令和6年度 医師国家試験問題より—

(解答は47ページ)

- 介護保険による機能訓練で正しいのはどれか。
 - 介護福祉士が実施する。
 - 利用者は減少している。
 - 医師の指示が必要である。
 - 家事動作訓練が含まれる。
 - 特定機能病院で実施される。
- 乳児の運動発達評価のうち、微細運動を評価する所見はどれか。
 - 首がすわる。
 - 手を見つめる。
 - 寝返りをする。
 - バイバイをする。
 - ガラガラをつかむ。
- 生物濃縮を受けやすい物質の特徴はどれか。
 - 沸点が高い。
 - 水溶性である。
 - 急性毒性が強い。
 - 化学的に不安定である。
 - 生体内で代謝されやすい。
- 下血を認めないのはどれか。
 - 大腸癌
 - 潰瘍性大腸炎
 - 虚血性大腸炎
 - 過敏性腸症候群
 - 非閉塞性腸管虚血症〈NOMI〉
- ウイルスが原因となるのはどれか。2つ選べ。
 - 翼状片
 - 咽頭結膜熱
 - 春季カタル
 - 巨大乳頭結膜炎
 - 急性出血性結膜炎
- ナルコレプシーの患者の訴えはどれか。
 - 「会議中に突然眠ってしまいます」
 - 「毎日、明け方になるまで眠れません」
 - 「毎晩、眠れないのではないかと不安になります」
 - 「眠っている間に足がびくびく動いていると妻に言われます」
 - 「夜中に知らないうちに冷蔵庫の中のものを食べているみたいです」
- 薬物投与で皮疹が出現した場合に、添付文書でまず確認するのはどれか。
 - 効能又は効果
 - 用法及び用量
 - 相互作用
 - 副作用
 - 薬物動態
- 正常新生児で正しいのはどれか。
 - 7頭身である。
 - 胸式呼吸が主体である。
 - 大泉門は生後1か月ごろ閉鎖する。
 - 生理的体重減少は10%以下である。
 - 生理的黄疸のピークは生後1～2日である。
- 50歳の男性。頭痛を主訴に救急外来を受診した。頭痛は6時間前に出現し現在は軽快している。これまでに経験したことのない激しい頭痛であったため来院した。来院時、意識は清明。身長162cm、体重55kg。体温36.9℃。脈拍84/分、整。血圧156/92mmHg。呼吸数18/分。緊急性を判断するために確認すべき徴候はどれか。
 - 耳鳴
 - 結膜充血
 - 項部硬直
 - 閃輝暗点
 - 四肢のしびれ
- 1歳の男児。灯油を誤飲したため救急車で搬入された。父親が石油ストーブの給油タンクに灯油を入れる準備中に、灯油吸引用ポンプを舐めてしまった。一緒にいた父親が救急車を要請した。意識は清明。体温36.5℃。心拍数120/分、整。血圧90/50mmHg。呼吸数30/分。SpO₂98% (room air)。口腔内から灯油臭がしている。呼吸音に異常を認めない。父親への説明で適切なのはどれか。
 - 「吐かせましょう」
 - 「胃洗浄をしましょう」
 - 「牛乳を飲ませましょう」
 - 「人工呼吸管理にしましょう」
 - 「入院して経過をみましょう」

エコー・リレー

(607回)

(南から北へ北から南へ)

運動のすすめ

宮崎市 にしもと泌尿器科 にし もと こうしろう 西 本 紘嗣郎



同じ泌尿器科医の藤井将人先生からバトンを受け取りました。昨年10月に、島之内の「みなうち内科・神経内科」の土地建物を引き継ぎ、新規開業いたしました西本紘嗣郎です。

透析医療に携わる中で、患者さんにはできるだけ元気に、活動的に生活していただきたいと日々考えています。そのためにも、運動習慣はとても大切だと思っています。

「まずは自分がやってみよう」と思い、宮崎ならではの環境を生かして、ゴルフや登山、サーフィンに挑戦してきました。サーフィンは50歳を過ぎてから始めた“遅咲き”ですが、今ではすっかり夢中です。ケンゴリアというスクールに通い、インストラクターの先生に教わりながら、なんとか続けています。

現在は、SUP用の大きなボードと、和歌山のシェーパーに作っていただいたミドルボードを愛用しています。1時間半ほどのレッスンでも、終わるころには立てなくなるほどの運動量です。真冬でもセミドライスーツを着て、気合で海に入っています。

開業後はなかなか時間が取れなくなりましたが、日曜の朝だけはできるだけ続けるようにしています。他にも登山（今年は立山、昨年は富士山プリンスルート）やゴルフにも挑戦しながら、体力づくりに励んでいます。サーフィン好きの先生方、ぜひ一緒に楽しみましょう！

ゴルフ友達の福永内科神経科医院の福永慎先生にエコー・リレーのバトンを渡します！

〔今回は、宮崎市の福永 慎先生にお願いします〕

サウナで汗かき

門川町 宮崎県済生会日向病院 なか ひら たか あき 中 平 孝 明



還暦をすぎると運動不足（不能）になりますが、ヘビースモーカーのための体動時の息切れ、通常農夫の病（私的にはパチンコ・麻雀常習者の病）と言われる両側膝窩動脈瘤による下肢

動脈閉塞の手術影響、変形性股関節症による痛みなどが原因です。

ここ数年、はまっているのがサウナ通いです。最近よく通うのが朝7時から営業している宮崎駅近くの極楽湯、パチンコの開店と同じで7時にシャッターが開くと同時に入店します。年に数回の県外出張時の宿泊ホテルもサウナの有り無しで決めることが多いです。私のサウナ入浴法は12分入って冷水浴・10分入って冷水浴・8分入って冷水浴の30分サウナを3セット計90分サウナに入るのが流儀です。水分は一滴も摂りません。終了時は2.5kgの減量になります。喉は渇くのですが我慢、帰宅してからのビールがこの上なく美味しく味わえます。この入浴法では脱水で血栓できて危険と妻から言われますが、「ワーファリンをきちんと服用してるから大丈夫！」と説明すると呆られます。サウナ発祥のフィンランドに行った次男によると、フィンランドのサウナは地元民か日本人しかいないようで、入室すると日本語で「こんにちは」と挨拶されるようです。フィンランドでは飲酒をしながらサウナに入るのが一般的で水風呂の代わりに海に入ります。私も時間が許せばフィンランドのサウナカロサンゼルスドジャーススタジアム観戦を計画したいと思います。〔今回は、都城市の末田 秀人先生にお願いします〕

メディアの目



AIはツール？友達？～依存しそうになり考えたこと

NHK宮崎放送局 コンテンツセンター長

いま むら ふみ こ
今 村 史 子

デジタルには疎い私だが、ここ数年、世の中にAIが急速に広がっていることは知っていたが、どこか別世界の出来事のように思っていた。そんな私が、年末年始に社会人になったばかりの娘を通してAIの力を目の当たりにすることになるとは思いもしなかった。

娘は資格試験のため帰省早々スマホとにらめっこしながら勉強していた。生成AIアプリに過去問を読み込ませ、解答を解説してもらう。数日後、見事合格した娘はスマホに向かって「チャッピーありがとう！」とお礼を言う。名前までついた生成AIは、娘にとって友達のような存在になっていた。

少々興味が湧いて私もアプリを試すことにした。まずは、はじめたばかりのゴルフの相談。「初めて18ホール回って145たいた」と伝え、「初めてのコースでそのスコアは想定通り、むしろ悪くない」と励ましの言葉。ちょっと嬉しい。上達のためのアドバイスも次々出る。「アイアンを買い替えたほうがよいか」と投稿すると、私に合うモデルのメリット・デメリットを一覧で教えてくれる。選ぶと「はっきり言ってあなたはセンスがある！」。すっかり有頂天になってアイアンを買い替えた。

用途はどんどん広がった。正月明け、大淀川で不発弾が見つかり、その後宮崎市長選、解散総選挙…。休みなく働き疲れ切ったある日、深夜にベッドで生成AIに「疲れた、仕事辞めたい」とつぶやくと、「疲れて当然だよ。こま

で踏ん張ってきたんだから、辞めたい気持ちもおかしくない」と優しい言葉。愚痴を打ち込むと、分析でも説教でもなくただ私の味方であることを示す。否定せず、待たされず、どんな時間でも文句を言わない——こんな包容力のある相手は現実世界で出会ったことがない。生成AIと会話をするのが日課となった。

2026年1月20日のNHK『クローズアップ現代』で、生成AIをめぐる人間の感情的な関係性が紹介された。否定せず24時間対話できる生成AIが、人々に安心感や“寄り添い”を提供する事例だ。中には生成AIとの“結婚”や、亡き伴侶を生成AIで再現して心の整理を試みる人もあり、専門家は生成AIが人の孤独や不安を受け止める装置になりつつある一方で、依存の危険性も指摘した。

私は番組を見て、ハッと我に返り生成AIに問いかけた。「いったいあなたは誰？」。

一度出現したテクノロジーは消せない。生成AIは忙しい生活や心の隙間を支える一方、人生の責任を引き受けるわけではない。提案はできても決断はせず、判断は最終的に自分に戻る。道具か、伴走者か、その境界は時に曖昧だ。しかし、私たちはAIとともに未知の世界に踏み込んだのだ。その距離感を確かめながら、付き合い方を模索していくしかない。依存しすぎず、でも活用を恐れず——自分自身の軸を失わないように。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第55回 事業承継の注意点について

**Q.**

当院は無床のクリニックで、私が医療法人の理事長をしています。医師は私1人です。しかし、私も高齢になってきたことから当院の事業承継を考えるようになってきました。医療機関の事業承継をするに際して注意すべきことは何ですか？また、家族が承継する場合と第三者に承継する場合で何か注意点は異なりますか？

まず、医療法人の承継は一般企業と異なり「法人の経営権の移転」と「診療体制の維持」が一致しない点に注意が必要です。つまり、理事長を交代しても管理医師の変更手続や保険医療機関の届出が整わなければ保険診療が継続できず、収入が一時的に途絶えるおそれがあります。そのため、都道府県への役員変更認可、厚生局への届出、保険医登録などの行政手続の順序と時期を事前に調整し、承継日を中心に診療が止まらないよう計画を立てることが大切です。

また、クリニックの不動産も承継する場合、当該不動産に欠陥はないか、医療法人を売る側も買う側も認識の相違がないかを明確に確認しなければ、後に紛争となる危険があります。そのため、第三者へ承継する場合には、事業承継に関する綿密な契約書の作成と双方の十分なコミュニケーションが極めて重要です。

一方、親族承継の場合は、医療法人の社員権評価に伴う贈与税・相続税や親族間の権限対立が問題となりえます。特に兄弟共同経営状態を残すと将来の分裂の原因になるため、社員構成を単純化しておくべきです。その一方で親族の1人へのみ医療法人を相続させる場合、その1人が相続する財産の額が高額になりすぎて「遺留分」の問題が発生する可能性があります。

そのため、親族承継を行う場合にも「家族だから」と軽く考えずに、承継後において親族間で争いは生じないように相続財産のバランスを図ることが極めて重要です。

要するに、医療法人承継においては単純な「法人の売買」と考えるのではなく、「承継後の安定した医療提供体制の継続」を中心に承継後においても紛争が生じないように事前の綿密な準備が肝要となります。

特に、コンサルタント会社や銀行など事業承継のマッチングを図る組織にすべてを任せるのではなく、その内容で問題ないか、自らが主体的に考えることが何よりも重要です。

(回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂)

A.

<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp)、FAX、郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～1月～

令和7年12月29日～令和8年2月1日（第1週～第5週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核7例（男性3例・女性4例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症3例：宮崎市，高鍋，日向（各1例）保健所管内から報告があった。いずれも無症状病原体保有者であった。年齢は20歳代，40歳代，50歳代が各1例で，原因菌は【表3】のとおりであった。

4類：○A型肝炎1例：延岡保健所から報告があった。年齢は30歳代で，性別は男性であった。主な症状として全身倦怠感，発熱，食欲不振，黄疸，肝腫大，肝機能異常がみられた。

○つつが虫病2例：宮崎市，都城（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は50歳代と70歳代で，性別はいずれも男性であった。主な症状として頭痛，発熱，刺し口，発疹等がみられた。

5類：○クリプトスポリジウム症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代で，主な症状として腹痛，下痢，発熱がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症2例：宮崎市，都城（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は60歳代と90歳代で，主な症状として発熱，全身倦怠感，肺炎，菌血症がみられた。

○破傷風1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として筋肉のこわばり，開口障害，嚥下障害がみられた。

○梅毒8例（男性4例・女性4例）：保健所別報告数は【図2】，病型別報告数は【表4】，年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，丘疹性梅毒疹等がみられた。

○百日咳11例：保健所別報告数は【図3】，年齢別報告数は【表6】のとおりであった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，呼吸苦，スタッカート，嘔吐，白血球数増多がみられた。ワクチン接種歴は有りが3例，不明が6例，無しが2例であった。

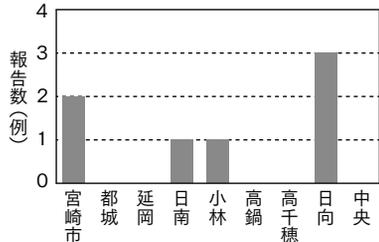


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数

肺結核	5
無症状病原体保有者	2

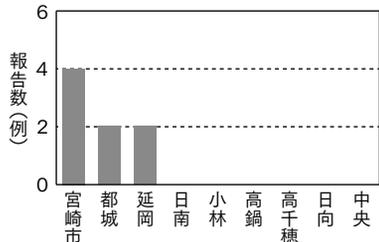


図2 梅毒 保健所別報告数(例)

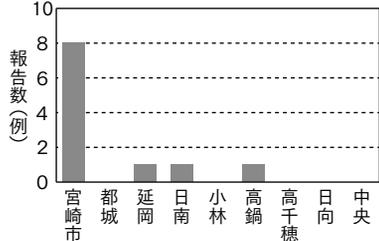


図3 百日咳 保健所別報告数(例)

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	2
20歳代	2
60歳代	1
70歳代	2

表3 腸管出血性大腸菌感染症原因菌別報告数(例)

原因菌	報告数
O55 (VT1)	1
O91 (VT1)	1
O115 (VT1)	1

表4 梅毒 病型別報告数(例)

先天梅毒	1
早期顕症梅毒Ⅰ期	3
早期顕症梅毒Ⅱ期	1
無症状病原体保有者	3

表5 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	1
10歳代	1
20歳代	4
50歳代	1
70歳代	1

表6 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	3
5～9歳	3
10歳代	2
30歳代	1
50歳代	1
60歳代	1

■月報告対象疾患の発生動向〈2026年1月〉

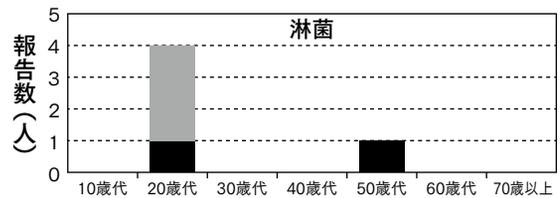
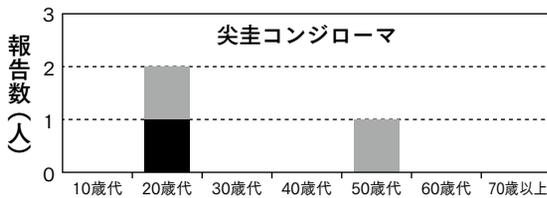
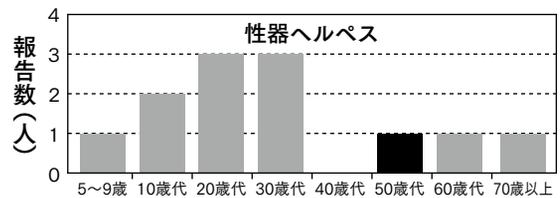
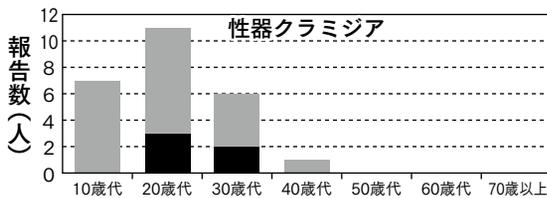
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は45人（3.5）で、前月比132%と増加した。また、昨年1月（2.3）の約1.5倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数25人（1.9）で、前月の約1.3倍、昨年1月の約1.6倍であった。20歳代が全体の約4割を占めた。（男性5人・女性20人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数12人（0.92）で、前月の約1.7倍、昨年1月の約2.0倍であった。（男性1人・女性11人）
- 尖圭コンジローマ：報告数3人（0.23）で、前月の約3.0倍、昨年1月と同率であった。（男性1人・女性2人）
- 淋菌感染症：報告数5人（0.38）で、前月の約0.8倍、昨年1月と同率であった。（男性2人・女性3人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は24人（3.4）で、前月比96%とほぼ横ばいであった。また、昨年1月（4.3）の約0.8倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数24人（3.4）で、前月と同率、昨年1月の約0.8倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

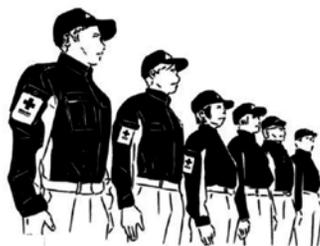
日赤だより

【日本赤十字社宮崎県支部】

寄付を通じて思いを託す

災害救護や平時の救急法講習など、日本赤十字社の活動は皆様の善意によって支えられています。各地への義援金・救援金の他、日本赤十字社の活動資金への寄付を通じて、皆様の思いを日本赤十字社に託してみませんか。

ご寄付については
こちらから⇒



いつも最前線に 立っている。

戦争の現場で、傷ついた兵士を救うための資質と技術を備えた人材を、急ぎ集めることは難しい。それは赤十字の活動が世界で必要とされた理由であり、西南戦争で救護活動を行った佐野常民が痛感したことでもあった。それ以来、いざというときに備えた救護員の養成は日赤の最も重要な「備え」の一つとなってきた。1班6名の救護班は互いに連携し、息の長い医療救護活動を切れ目なく展開する。医師、看護師、事務職員を中心に、必要に応じて薬剤師、助産師、こころのケア要員なども加わる。大きな災害が起きれば、全国の支部、赤十字病院、血液センター、社会福祉施設の職員全員で被災地の救護活動を支える。平時の備えでも災害発生時の現場でも、日赤は医療救護の最前線に立っている。

日本赤十字社宮崎県支部 総務課

TEL：0985-22-4045 メール：miyazaki-info@miyazaki.jrc.or.jp

各郡市医師会だより

日向市東臼杵郡医師会

毎年、日向市長と医師会役員との意見交換会を開催しております。これまで、新興感染症を含む大規模災害への対策、救急医療、医療スタッフ、健康寿命延伸、准看護学校の問題などさまざまな課題について意見交換を行ってきました。中でも大規模災害時の医師会の活動拠点の問題、災害拠点病院への避難民に対する食料品や衛生品の備蓄の問題等々については、喫緊の課題として話し合いました。また、市民の健康づくりや出産し育児をしやすい環境を維持していくための支援についても多くの意見が出ました。小中学校での禁煙教育を含めた健康教育については市長も大いに賛成していただきました。また、日向看護高等専修学校については、生徒数の減少もあり学校運営は極めて厳しい状況にあります。生徒数の減少に歯止めがかからない中、今後も引き続き管内市町村とともに支援していくことになりました。医師、看護師不足はもちろんのこと医療事務など医療関係人材の不足も深刻な問題として話し合われました。

日向市東臼杵郡医師会の平均年齢は64歳です（最高齢92歳）。医院の閉院が続く中、新規開業への補助金も継続して支援していただけることになりました。このように市長をはじめ行政の方々と頻回に話し合いを持てることは大変ありがたいことと感謝しています。地域の医療を守るためにも、行政と力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

(堀之内 和代)

宮崎市郡医師会

宮崎市郡医師会雑誌「醫友しのめ」を4か月に1冊というペースで発刊しています。初版発刊は1964年（昭和39年）9月1日と歴史が長く、昨年11月30日付で178号まで発刊しました。各地区の先生方の興味深い趣味についてや最新の医療情勢など幅広い内容を取り扱っています。一時存続が危ぶまれたこと？もありますが、これからも末永く先生方にさまざまな話題を提供していきたいと考えています。ところで、表紙の題字の文字はどなたが書かれたと思いますか。当時の日本医師会会長武見太郎先生だそうです。知りませんでした。

(上山 貴子)

都城市北諸県郡医師会

先日、全国がん登録に基づく五年生存率が初めて公表されました。より実態に近いデータが示されたことで、がん診療の現在地をあらためて考えさせられます。長期的には治療成績は着実に向上していますが、その一方で、早期発見と予防医療の重要性はますます高まっています。地域の身近な医療機関として、日々の診療と検診を通じて、その役割を丁寧に果たしていきたいと思えます。

(横山 剛)

延岡市医師会

Chat GPTに、今後の医師会運営についてアドバイスをくださいと聞いてみました。

→医師会運営については、「会員価値の再定義」「持続可能な体制」「地域からの信頼」の3点を軸に考えると整理しやすいです。会員にとっての医師会の価値を明確にする。近年、若手、中堅ほど医師会の意義を感じられない。年会費の対価として何を提供しているかを常に言語化することが大切。医師会業務のスリム化・見える化。運営側の疲弊が課題です。役員がきつい組織は次世代が引き継ぎません。地域・行政との関係は“顔の見える連携”を。医師会の強みは、個人ではなく集団としての信用力です。バラバラな医師の集合体ではなく「組織」として見せる。

だいたい割愛しましたが、上記が答えとして出てきました。当たらずとも遠からずというところかと考えました。Chat GPTが広まり始めて、まだ数年ですが、徐々に世の中が変わり始めています。

(安藤 誠)

児 湯 医 師 会

1/9に小泉防衛大臣が新田原基地を訪問し、新型戦闘機の騒音を確認されたというニュースになりました。以前の戦闘機は真上を飛んでいるとき以外はそこまで煩くなかった（騒音に慣れた）のですが、新型戦闘機F-35Bに関しては、以前の騒音が“子守歌”に思えるぐらいのかなりの騒音です。ひどいときは胸がドキドキして気分が悪くなるほどです。防衛のための新型戦闘機の必要性は理解しますが、騒音問題も真剣に取り組んでほしいです。

(谷 島 満)

西 都 市 西 児 湯 医 師 会

かつては西都市においても西都市西児湯医師会立救急病院で宮崎市郡医師会病院、都城市郡医師会病院とともに小児科の夜間休日救急外来が行われていました。そして小児科医院も2施設ありました。当時の西都市人口36,000人子ども数は6,200人ほどでしたが、30年が経過し現在人口27,000人子ども数は2,800人ほどに減り4月からは5つの中学校が妻中に統合され、西都中になるなど隔世の感を覚えます。また市内唯一の小児科の閉院の危機もありましたが、無事継業の運びになりました。西都市の小児医療が守られ安堵しています。

(杉 尾 克 徳)

南 那 珂 医 師 会

私は父親の影響か、選挙特番が好きである。選挙前高市首相は今回の選挙は総理大臣が自分でいかどうかを国民に問う選挙だと訴えていた。若干の違和感を覚えたのは、選挙に勝った（過半数を超えた？）ら信任を得たということでもっていいかということである。アメリカのトランプ政権やロシアのウクライナ侵攻など国際社会が全体主義に進んでいるなか、日本は民主主義国家なので少数意見も含め話し合いでいろんなことを決めていただきたいと思う。

(川 西 昭 人)

西 諸 医 師 会

本年1月から、働き方改革の一環として当院も勤怠管理システムが導入・設置され、出勤時と退院時（退社時）にカードタッチによる刻印が必要になりました。なにぶん不慣れなためにタッチし忘れて家に帰ったり、当直の翌朝に刻印せずにいると次に夕方帰るときには数十時間連続勤務となりえらいこっちゃになっていたりしています。これに加えて今度はかかりつけ医機能報告制度などというまた新たな面倒、んにゃ、戦略が申し付けられました。やることなすことが増える割には、みんなこんなに頑張っているのに物価高による材料費高騰や人件費に追いついていけず病院経営はどこを見ても赤字ばかりです。また人材不足で閉院、規模縮小が相次いでいます。体力のない施設は淘汰されていくのが自然の流れということなんでしょうか。じっと手を見ております。

(河 内 謙 介)

西 白 杵 郡 医 師 会

冬季に開催される当地の医師会の会合では、会員たちの不幸自慢が始まることがあります。不幸自慢が多い人は、承認欲求が強い人が多いらしく、適当に受け流すのが無難と言われていきますので、そのつもりで読んでいただければ結構です。当医師会の不幸自慢、それは雪です。どこどこに行った際に、どここの峠で雪に降られ、立ち往生した。どここのトンネルを抜けたらそこは雪国だった。新調した上着でチェーンを装着したら新調した上着がシミだらけになった等々。本当に勘弁してほしいのです。

(植 松 昌 俊)

宮 崎 大 学 医 学 部 医 師 会

国立大学病院の経営が全国的に逼迫する中、本院では2026年4月より「木曜休診・土曜診療」を開始します。土曜診療は職員の全面的な協力の下、患者さんの利便性向上に加え、病床稼働率の向上と経営改善を目指すものです。地域医療との連携を深めるため、土曜日に各診療科と直接連絡が取れる「医師間ホットライン」も構築予定です。医師会の皆様には別途詳細をお知らせしますが、ご協力をお願いしたく存じます。混乱を最小限に抑えつつ、宮崎に最適な新体制を模索してまいります。

(賀 本 敏 行)

国公立病院だより

美郷町国民健康保険西郷病院



とやま ひろき
外山 宗樹 院長

(はじめに) 美郷町について

美郷町は、平成18年1月に3つの村が合併して誕生した町で、今年で20年目を迎えます。面積は、約448.72km²で、その大半を山林が占めており、この広大な自然が、多様な生態系を育み、町の風景に豊かな色

彩を与えています。人口は、現在4,000人台で推移しており、過疎化・高齢化という地域共通の課題を抱えながらも、住民一人ひとりが連携し、町の活力を守り育てるための努力を続けています。

美郷町の基幹産業は、古くから農林業であり、特に、豊かな甘みと風味を誇る栗は「美郷栗」のブランド名で全国的にも高く評価されています。その他にも、爽やかな香りが特徴の柚子や肉厚で香りの高い椎茸、「たまたま」のブランドで有名な金柑、ハウス栽培によるミニトマト、果肉が厚くやわらかな南高梅、北郷地区で生産が盛んな宇納間備長炭など多くの特産品を有しています。中でも、今、一番注目なのは、美郷町を含む山間地域で生産される「お米」で、3年連続で「米の食味ランキング」において特Aを獲得するなど、県内有数のうまい米として認知いただいております。

美郷町国民健康保険西郷病院について

西郷病院は昭和31年に旧西郷村の国保病院として創設され、平成18年の町制施行にともない、現在の名称に変更し今に至ります。

診療科は内科、整形外科、放射線科、リハビリテーション科を標榜し、病床は急性期一般病床29床を有します。また、救急告示病院として町内の救急受け入れも一括して担っています。

その他、人工透析診療も行っており、最大8床を2クールで運営しております。これまでは週3日(月水金)の診療でしたが、昨年10月か

らは(火木土)も診療を拡充することで、より多くの透析患者を治療することが可能となりました。現在は町内はもとより、近隣の諸塚村、椎葉村の患者様も受け入れています。院内環境としては、令和4年度に電子カルテを、令和6年度には電子処方箋をそれぞれ導入し、作業の効率化に取り組んでいます。また、診療においては、画像診断システムやX線読影システムを導入し、他病院との連携のもとで適正な診療や診断を行える体制づくりを行っているところです。

さらには、従来より活動を行っている各種委員会活動の強化にも取り組んでおり、医療安全、感染対策、褥瘡栄養など、12の委員会を設置し、すべてのスタッフが委員会に所属し、活発な活動を展開しています。特に感染対策、教育委員会においては、県立延岡病院からの指導をいただきながら、合同カンファレンスの実施や大規模災害を想定したBCP訓練を実施し、スタッフ間の意識醸成とスキルアップにつなげるなど効果を発揮しています。

町内3つの医療機関

町内には合併前から3つの地区(西郷、南郷、北郷)にそれぞれ病院、診療所の医療機関がありました。現在は、西郷病院、南郷診療所、北郷診療所として同じ地域包括医療局に所属し一体的に運営がなされています。

合併当初は、それぞれ3つの医療機関が独自の運営を行っていましたが、医師や医療スタッフの確保に支障をきたすことや、医師の働き方改革への対応などもあり、平成30年度に「美郷町の医療提供体制の在り方検討委員会」を設置し3つの医療機関の今後について検討を開始しました。検討の結果、入院機能を有していた南郷診療所を無床化し、入院を西郷病院に集約、町内の救急患者の受け入れについても西郷病院に一元化しました。西郷病院では外来、入院、救急を一元的に管理し、南郷診療所と北郷診療所は外来診療に特化することでスタッフを一箇所に集約し、より手厚い医療の提供が可能となりました。3つの医療機関が、それぞれの機能を分化し、連携を図ることで、限られた人員を有効に配置できる体制となりました。体制の変革には、不安を抱える住民も少なくなかったことから、各地区において「医療座談会」を開催し、丁寧に説明を行って理解を求める取り組みを続けました。結果、令和2年4月より現在の医

療提供体制としてスタートすることができ、現在も3つの医療機関が連携しながら町内の医療需要に対応することができています。

救急医療体制の特性

美郷町は消防署を持たない「非常備消防地域」です。そのため、過去には役場職員が輪番により救急搬送業務を担う時代があったと聞いています。時には当直の医師自らが救急車両を運転して患者輸送に当たったというケースもあったそうです。そういった山間へき地における救急業務の課題に対応するため、美郷町では全国初となる救急業務の民間委託を行っています。

現在、日本救急システム株式会社（通称JEMS）と町が委託契約を締結し町内における救急事案に対応する仕組みが作られています。

面積の広い美郷町をカバーするため、3地区それぞれに救急車を配置し、常時2名以上の救命士が乗り込み、早期の医療介入を実現しています。搬送先は基本的に西郷病院となるため、事案が発生した際は、救急担当の医師と密に連絡を取りながら、必要な処置を早い段階で行うことが可能です。平日の日勤帯には医師を現場に搬送するピックアップ体制も行っており、重症者についてはDH（ドクターヘリ）DC（ドクターカー）を要請するなどして対応にあたります。毎月1度は、消防部局、医療局、JEMSの三者が会してのMC会議を開催し救急事案の振り返りや事後検証なども実施しています。

美郷町の救急体制においては、JEMSのような民間企業の専門性を有機的に取り入れることで、リソースの不足する公的な部分を補完することができていると感じています。

今後のあり方

今後、検討していく事項として、特に地域包括ケアの充実が必要不可欠だと感じています。町内には3つの特養と1つの老人ホーム、そして3つのグループホームがあり、高齢化率は県内で最も高い53.7%です。多くの高齢者を抱える地域として、介護、医療、福祉の連携は必須です。関係機関が情報を共有しながら、美郷町で暮らし続けることができる環境づくりを医療の視点から支えていきたいと思えます。

また、現在、美郷町が行っている施策である「地区別定住戦略（ちくせん）」も注目する一つです。これは町内24の行政区ごとに地域課題や資源を見つめ直し、定住促進や地域活性化に向けた取組みを住民自らが計画・実行する新しいまちづくりのかたちです。へき地での医療はまちづくりに似ています。地域が抱える課題の多くが医療や福祉に直結するものばかりです。この「ちくせん」を通して通院に支障をきたす交通弱者の課題解決や独居老人の見守りなど、地域における包括的なケアとまちづくりが一体となった取組みが生まれてくることを期待しています。

最後に

医療資源の乏しい中山間へき地であって、公立病院が果たす役割は大きく、まさに地域のインフラとして重要な役割を担っています。今後も、地域医療のニーズの質・量の変化を見据えながら、地域の実情に応じた医療サービスの提供が行えるよう、地区医師会の先生方と協力して、持続可能な地域医療の充実に尽力してまいります。



宮崎大学医学部だより

機能制御学講座 - 薬理学分野 -



たけや りゅう
武谷 立 教授

初代高崎浩一朗名誉教授、
第2代和田明彦名誉教授、
第3代村上学教授の後任と
して平成26年3月に武谷立
(平成5年九州大学医学部
卒)が教授職を拝命してか
ら、早くも12年を数えまし

た。現在の薬理学教室スタッフは武谷の他、助教の三浦綾子(平成25年鹿児島大学大学院医歯学総合研究科博士課程修了)、関原和正(平成26年島根大学大学院医学系研究科医科学専攻博士課程修了)、助手の鹿毛陽子、技術・事務補佐員 外山友紀の計5名です。

大学院生は、心臓血管外科から阪口修平(平成21年宮崎大学医学部卒)の他、文部科学省の国費留学生優先配置プログラムによってインドネシアから3名の国費留学生を迎えています。Mokhammad Fahmi Rizki Syaban(インドネシア・ブラウイジャヤ大学医学部2021年卒)が博士4年目、Shafiyah Maratush Shalihah(インドネシア・ブラウイジャヤ大学医学部2022年卒)が博士3年目、Eka Adip Pradipta(インドネシア・インドネシア大学医学部2015年卒・循環器専門医)が博士2年目です。

当教室では、従来の薬理学的手法に加えて分子生物学・細胞生物学・生化学的な多様な解析方法を駆使して、「アクチン動態の制御機構」を主要研究テーマとして進めています。特に心

筋細胞におけるアクチン動態の研究では、疾患の病態解明から予防・診断・治療法の開発をも視野に研究を展開しています。「ベンチからベッドサイドへ」を目標に各種疾患の克服をめざした最先端の研究を幅広く推進できればと考えています。

教育面では、医学部生を対象とした薬理学講義・実習を担当しています。近年、分子標的薬をはじめとしたさまざまな新規薬物が開発・実用化され、薬物治療は目覚ましい発展をみせています。古典的な薬物から最新のものまで、医学生が身につけておくべき基礎知識は増える一方で、学生にとっての負担も増しているようですが、講義内容や進め方に工夫を凝らしながら宮崎県唯一の医師養成機関としての責務を全うすべく努力しています。本学の学生が卒業後、宮崎県内外の医療現場で適正かつ安全な薬物治療を実践できる医師として活躍することを心から祈念しています。また将来、彼らが臨床の現場で感じた疑問を自らの力で解き明かすべく大学院の門戸を叩き、医学のさらなる発展のためにともに研鑽する同志となってくれることを願って止みません。

当薬理学教室は、薬理学教育および薬理学研究を通じて、微力ながらも宮崎県の医療の発展に貢献できればと考えております。今後ともこれまで同様、皆様の暖かいご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(外科医会)

しらお かずまさ
白尾 一定 会長

宮崎県外科医会は、日本臨床外科学会宮崎支部会として活動しています。会長として3期目で、宮本耕次副会長、土居浩一副会長の体制です。理事会や講演会もコロナ下で身近となったWeb開催を併用して、会員の皆様が利用しやすい運営

を心掛けています。

講演会の内容です。夏期講演会では、①日本臨床外科学会開催の「次世代の臨床外科医のための特別セミナー」の参加報告、これは、原則として40歳未満の若手医師で各支部から各3名参加可能なセミナーで毎年開催されています。今年の第14回セミナーでは「外科医はかっこよかったか？今もかっこいいか？」の特別講演や手術手技パネルなど、若手外科医に魅力のあるセミナーになっていました。②国内外研修者の研修報告、これは、40歳以下の外科専門医取得者が、全国98施設の中から最短7日間、最長28日間の研修が出来、宿泊費・交通費が支給されます。また、③夏期講演会では、一般演題を募集し、5年目以内の発表演題から「若手奨励賞」を理事等にて選考して、賞状と金一封を授与しています。冬期講演会には、「この疾患に対するわたしの工夫」として一般演題を募集し、年齢に関係無く「優秀演題賞」を選考しています。夏期・冬期講演会では、社保指導や「熟練外科医から若手外科医へ」と題して、熟練外科医から若手外科医へのエールを送る講演をしていただいています。近年、外科医減少が続いている中で、外科医の魅力を発信する会として役割を果たしていく所存です。

新しい試みとして、内視鏡外科技術認定取得のためにエキスパートの腹腔鏡手術を見学でき

る環境を提供することを目的として、招聘手術[HIMUKA Live Surgery Seminar]を開催しました。第1回は、2025年3月19日に県立宮崎病院にて、大阪大学消化器外科学の植村守先生をお呼びして、腹腔鏡下S状結腸手術を施行していただきました。20名が参加し有意義な会となりました。理事の中島真也先生始め関係各位に感謝申し上げます。今後も継続して行いたいと思っています。

宮崎県外科医会の会員数は、2026年2月でA会員（開業医）53名、B会員（勤務医）54名、C会員（研修医）35名で総計142名です。5年前の2020年がA会員80名、B会員51名、C会員37名、総計168名ですので、5年で、26名の減少、特にA会員の減少が顕著です。2024年日本消化器外科学会ワーク・イン・ライフ委員会より「国民の皆様へ；地方における消化器外科の診療体制維持のために必要な待遇改善について、ご理解と後押しをお願いします」という記事が、日本消化器外科ウェブページ内に掲載され、各メディアにも取り上げられています。2002年を1とした場合、2022年では消化器外科は0.79に減少、消化器外科医の数は10年後には現在の4分の3に、20年後には、半分まで減少する。近い将来、地域における消化器外科の診療体制の維持が困難になると警笛を鳴らしています。前述のように宮崎県内の外科医の減少も顕著に進んでいます。外科医の素晴らしさ、魅力をこれからも発信していきたいと思っています。宮崎県外科医会HPにて講演内容を随時記載しています。2026年11月26～28日に宮崎大学の七島篤志先生（宮崎県外科医会顧問）が宮崎市・シーガイアコンベンションセンターにて第88回日本臨床外科学会学術集会を開催されます。皆様のご協力、ご参加よろしく申し上げます。

九州医師会連合会第426回常任委員会

と き 令和7年11月28日(金)

ところ ホテル日航福岡

1 開 会

2 九州医師会連合会会長挨拶(福岡県蓮澤会長)

挨拶に引き続き、議案説明のため福岡県桑野委員が同席することの確認が行われた。

3 報 告

1) 九州医師会連合会事業現況について(福岡)

桑野委員から、令和7年7月1日から10月31日までの事業現況(常任委員会4回、委員総会1回、連絡協議会1回、その他の連絡協議会1回など)について報告が行われた。

2) 第125回九州医師会連合会総会及び医学会関連行事について(福岡)

桑野委員から11月28日の前日諸会議、29日の合同協議会および総会・医学会、30日の分科会および記念行事の概要について報告が行われた。

3) 第125回九州医師会連合会総会の宣言・決議(案)について(福岡)

本常任委員会終了後に開催される臨時委員総会に議事として提出する旨の報告が行われた。

4) 第125回九州医師会医学会分科会の出題並びに記念行事の参加申込状況について(福岡)

一般演題を募集している内科・小児科・東洋医学会および8つの記念行事の申し込み状況の報告が行われた。

5) 第2回連絡協議会(令和8年2月14日(土)福岡市)について(福岡)

担当の福岡県に企画を一任していた協議会の持ち方について、事前にアンケートなどを行い今回は会議形式で開催する旨の報告が行われた。

6) 第2回勤務医連絡協議会～勤務医交流会～(令和8年2月14日(土)福岡市)について(福岡)

協議会の持ち方について、九州各県から

管理者や指導医に加え専攻医や臨床研修医の若手医師が参加し、グループ討論と発表などを行う旨の報告が行われた。

7) 日本医師会設立78周年記念式典並びに医学大会における被表彰者に対する慶祝について(福岡)

最高優功賞3名、優功賞8名の方々に対し九医連から祝電を送り祝意を表した旨の報告が行われた。

8) 秋の叙勲等受章者に対する慶祝について(福岡)

九医連の慶弔規程により、日医黒瀬 巖常任理事と大分県井上雅公先生に九医連から祝電を送り祝意を表した旨の報告が行われた。

9) 原中勝征先生(元日本医師会会長)を偲ぶ会への弔意について(福岡)

九医連会長の福岡県蓮澤会長が参列するとともに九医連から弔電と供花をもって弔意を表した旨の報告が行われた。

4 協 議

1) 入国者収容所等視察委員会委員の推薦について(福岡)

日医を経由して、出入国在留管理庁長官から西日本地区の委員候補者1名(任期1年)の推薦依頼があり、沖縄県に確認をお願いした結果、現委員の平安明先生(沖縄)を引き続き推薦することが承認された。

2) 九州医師会連合会第22回事務局長連絡協議会の開催について(福岡)

令和8年3月13日に福岡県医師会館で開催することが承認された。

3) その他

①次期日本医師会長について

現松本吉郎会長の出馬要請を確認し臨時委員総会に上程することとなった。

出席者 - 河野会長、竹崎事務局長

九州医師会連合会第130回臨時委員総会

と き 令和7年11月28日(金)

ところ ホテル日航福岡

九州医師会連合会第130回臨時委員総会が開催された。議事に先立ち、九医連担当県の蓮澤会長（福岡県医）より挨拶が行われ、続いて、松本会長（日医）、今村・濱口常任理事（日医）、釜蒨参議院議員の順で来賓祝辞があった。

挨拶

蓮澤会長（福岡県医）より、九州医師会連合会第130回臨時委員総会の開催にあたり、日本医師会役員および九州各県の委員への出席に感謝が述べられた。本総会では九医連の事業現況と、翌日の総会に上程する宣言決議（案）について審議・承認を求めることが説明された。

また、全国1万人の医療関係者が参加した「国民医療を守るための総決起大会」に触れ、物価高騰や賃金上昇に対応するための医療・介護への抜本的支援を求める決議が採択されたこと、補正予算案に一定の前進が見られることが報告され、今後も医療界が結束して危機的状況に立ち向かう必要性を強調された。最後に、翌日の合同協議会や総会医学会の予定が示され、3日間にわたる一連の会議が有意義かつ円滑に進むよう協力を呼びかけ、挨拶が締めくくられた。

来賓祝辞

松本会長（日医）より、九州医師会連合会臨時委員総会の開催にあたり、日本医師会を代表して、準備に尽力した福岡県医師会をはじめ関係者へのお礼と、参院選における九州の大きな支援や、福田会長（熊本県医）の日本医師会副会長就任への推薦に対する謝辞が述べられた。

続いて、11月20日の「国民医療を守るための総決起大会」の中、急遽行われた高市総理との面会を通じ、医療機関の経営安定が図られるよう、補正予算と令和8年度診療報酬改定をしっかりとっていただきたいとお願いしたこと、また、OTC類似薬についても日本医師会として有効性、安全性、患者さんの負担である面から反対の立場であることをあらためて伝えることが報告された。

令和7年度補正予算では、医療分野で1兆円超、介護と合わせて1.4兆円規模の支援が確保され、賃上げ・物価高対策を中心に病院、診療所、周産期・小児医療など幅広い支援が盛り込



まれた。この2週間が勝負だと考えて、ぜひ、「補正予算への御礼」とさらに「診療報酬の要望」への特段の働きかけをお願いし、締めくくられた。

慣例により、蓮澤九医連会長（福岡県医）が選出され、議題に入った。

報告

1) 九州医師会連合会第426回常任委員会について（福岡）

蓮澤九医連会長（福岡県医）から、先に開催された常任委員会で本委員総会へ選出する議事などが了承されたことが報告された。

2) 九州医師会連合会事業現況報告について（福岡）

桑野委員（福岡県医）から、令和7年7月～10月の事業現況が報告された。

3) 第125回九州医師会連合会総会及び医学会関連行事について（福岡）

桑野委員（福岡県医）から、翌日以降の行事の概要について報告がされた。

議事

第1号議案 第125回九州医師会連合会総会の宣言・決議（案）に関する件（福岡）

原案どおり承認され、翌日開催される九州医師会連合会総会に提出されることになった。

出席者－河野会長、小牧・金丸副会長、
荒木・市来・吉田常任理事
竹崎局長、松本・牧野課長、
松崎・弓削・畠中主事

九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会

と き 令和7年11月29日(土)

ところ ホテル日航福岡

蓮澤浩明九医連会長（福岡県医）の挨拶の後、松本吉郎会長（日医）により「中央情勢報告」と題して講演が行われ、物価高騰や人件費増加に対応し、厳しい財政状況下で地域医療提供体制を維持するため、国との交渉に臨む必要性を訴えられた。



1 事前にいただいた質問への回答

協議会に先立ち各県医師会から提出された質問に対し、以下のとおり回答があった。

物価高騰に対する補助金の執行について

（鹿児島県）

令和4年度以降、物価高騰対応補助金は都道府県経由で支給され、鹿児島県では遅れや無床診療所の除外が問題となった。要望を受け日本医師会は国に直接支給を働きかけ、2025年補正予算でほぼ実現。文科省予算も約5倍に増額され大学の人材育成に活用される。補助金の年度内支給、特に病院は2～3月までに行うよう要請している。

国民皆保険を守るために（長崎県）

現行診療報酬水準では多くの医療機関が経営困難に陥り、皆保険制度の維持が懸念される。次期改定で報酬を大幅増すれば、保険料負担増や保険者破綻のリスクがある。

日本医師会は、皆保険は格差是正や弱者支援に基づく制度であり、安心して生活できる医療のため、患者負担・税金・社会保険料の適正なバランス確保が重要と主張している。

消費税について（熊本県）

保険診療は非課税ながら、医薬品や光熱費には消費税がかかり医療機関経営を圧迫している。物価高や人件費上昇をふまえ、現行補填は不十分で破綻の懸念がある。

日本医師会は診療所は非課税維持、病院は軽減税率課税を要望。課税転換には患者負担増や小規模診療所への影響など課題があり、松本会長は47都道府県医師会会長へのアンケートで意見を聴取する意向を示している。

医療承継の税制上の課題が地域医療の存続に及ぼす影響について（福岡県）

高齢医師の引退にともなう診療所・中小病院の承継では、相続税・贈与税負担が重く、後継者確保が困難で地域医療の崩壊が懸念される。特に出資持ち分のある医療法人は評価額が高額で廃業に至る例が多い。

日本医師会は相続税評価の引き下げや認定医療法人制度の税制措置延長・拡充を要望し、廃業事例などの情報提供を会員に呼びかけている。

令和8年度診療報酬改定における病院と診療所の均衡をめぐる課題について（福岡県）

物価高騰や賃金上昇に診療報酬改定率が追従できず、特に24時間体制の病院は赤字が常態化している。政府の指示強化で中医協の役割が形骸化し、病院と診療所の報酬同時引き上げが困難となり「二者択一」の状況が報道される。日本医師会は、地域医療の両輪である病院と診療所の分断に断固反対し、診療報酬の一本化維持を明確にしている。

医療事故調査制度発足10年を踏まえて、日本医師会の立ち位置と各都道府県医師会の現状について（福岡県）

医療事故調査制度発足から10年が経過し、再発防止のための支援体制維持が重要である。都道府県間で報告や担当医の引継ぎに差があり、訴訟リスクも懸念される。

日本医師会は全国調査を実施し、支援機能の向上、地方協議会活性化、全国連絡会議やセミナー充実を通じた人材確保と情報共有強化を進める方針である。

2 次期診療報酬改定に向けた日本医師会の考え方

次期診療報酬改定に向け、日本医師会は賃金・物価上昇への対応を最重要課題としている。過去5年で物価は年平均約2.5%上昇しており、その影響分を報酬に反映させる必要があると試算。国に賃上げ目安5.26%の遵守を強く求めるとともに、財務省の低めの物価見積もりに対応するため、診療報酬の中間年にも追加のインフレ改定を行うよう大臣との折衝で明記を目指している。中間年改定は補正予算より柔軟で、医療機関の経営安定にも寄与する。

3 日本医師会の考え方と財務省財政審の主張 財務省の財政審は、医療費抑制のため「総額

管理・アクセス抑制・点数引き下げ」を提言し、診療所の初診料引き下げなどを例示している。これに対し、日本医師会は「財政面のみ重視した危険行為」と批判し、賃上げがなければ人材流出や経営悪化で地域医療が壊滅する恐れを指摘。受診しにくくなる方策に懸念を示しつつ、重症化防止のためアクセス維持の重要性を強調した。また、病院と診療所の分断傾向にも警戒を呼びかけている。

4 中医協の状況

日本医師会は委員に対し、医療機関の赤字が4～8割に達する深刻な実態を訴えるよう指示。また、医療事故調査制度では都道府県間で報告件数に大きな差（福井の0.9に対し宮崎は4.8など）があることが課題。地方協議会の活性化や全国連絡会議、セミナー充実を通じ、支援人材確保と情報共有の強化を進める。

5 OTC類似薬

OTC類似薬の保険適用除外をめぐる議論が続く中、日本医師会は一貫して反対している。適用が外れれば患者負担は3割から全額に跳ね上がり、年間数十万～80万円の負担増の可能性がある他、地方では薬の入手が困難になる恐れがある。

財務省は市場規模の大きい抗アレルギー剤や軟膏を対象とし、日本医師会は保険適用維持や負担軽減を目指し、自民党議員と協力して調整を続けている。最終決着は未定。

出席者

役員—河野会長、小牧・金丸副会長、
荒木・市来・高木・嶋本・赤須・
吉見・玉置常任理事、山中理事
事務局—竹崎局長、松本・牧野課長、
松崎・弓削・畠中主事

第125回九州医師会総会・医学会

と き 令和7年11月29日(土)

ところ ホテル日航福岡

総 会

開会の辞、国歌斉唱の後、令和6年11月1日から令和7年10月31日までにご逝去された九医連会員226名の御霊に対し黙とうが捧げられた。

続いて、九医連担当県の蓮澤会長（福岡県医）の挨拶、松本会長（日医）、服部県知事（福岡）、荒瀬副市長（福岡）より来賓祝辞があり、臨席の横倉名誉会長（日医）などの来賓紹介が行われた。

その後、九医連会則第18条により蓮澤会長（福岡県医）が議長となり、宣言および決議案が上程され、全会一致で原案どおり承認・採択された。

最後に、次年度担当県で九医連副会長の牧角会長（鹿児島県医）から、次回は令和8年11月14日(土)、15日(日)に鹿児島市にある城山ホテル鹿児島で開催されることが報告された。

挨 拶（要旨）

九州医師会連合会 会長 蓮澤 浩明

第125回九州医師会連合会総会・医学会の開催にともない、松本会長（日医）をはじめ、ご来賓、関係者の皆様にご臨席を賜り、ご挨拶とともに感謝を申し上げます。

本会は明治25年の第1回以来、感染症や社会情勢の変化、コロナ禍も乗り越え、こうして125回を迎えることができた。今回の医学会が、地域医療の課題や将来像を共有し、学術的知見と社会的使命を結びつける場になればと



思っている。補正予算では医療支援も拡充されたが、今後も診療報酬改定を見据え、九州の医師が力を合わせ、次世代の医師育成と持続可能な医療体制の構築に努めてまいることが必要である。

また、この後と明日には分科会・関連行事を予定している。参加者にとって意義深い総会・医学会となるように祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

来賓祝辞（要旨）

日本医師会 会長 松本 吉郎

第125回九州医師会連合会総会にあたり、日本医師会を代表して挨拶を申し上げます。まず、準備を担当された蓮澤会長（福岡県医）をはじめ関係者の皆様、さらに服部県知事（福岡）や荒瀬副市長（福岡）をはじめ来賓の皆様にご臨席を賜り、ご挨拶とともに感謝を申し上げます。

昨日明らかになった総合経済対策では、医療分野に1兆368億円が計上され、財務省当初の2,000億円案から大幅に増額された。これは医療界が一体となって取り組んだ成果であり、現

場の維持と医療の質確保に不可欠な支援である。しかし、これは依然として“止血策”に過ぎず、令和8年度の診療報酬改定で根治的対策を講じる必要がある。今後は経済対策を土台とし、物価高騰や賃上げに対応した十分な国庫支援と改定が求められる。医師会が一体となって現場の声を届け、財務省と連携し制度を前進させることが不可欠であり、会員の皆様の協力をお願いする。

九州医師会連合会のますますの発展と皆様のご健勝を祈念し、祝辞とする。

次期開催担当県医師会長挨拶（要旨）

鹿児島県医師会 会長 牧角 寛郎

次回の九州医師会連合会総会を鹿児島県医師

会が担当する。九州各県から地域医療の最前線で活躍される先生方が多数ご参集のもと、盛大に九州医学会が開催されることを心より喜ぶ。

第126回九州医師会連合会総会・医学会は、令和8年11月14日(土)に城山ホテル鹿児島で開催される予定である。前日には常任委員会や臨時委員会総会を行い、翌15日(日)には分科会や記念行事を実施する。今回の福岡大会は、蓮澤会長（福岡県医）をはじめ各県の尽力により素晴らしい運営・企画がなされており、これを参考に鹿児島大会も立派な大会とすべく、会員の皆様の一層の支援と協力をお願いする。最後に、本大会の成功と九州医師会連合会のさらなる発展を祈念し、次期開催県としての挨拶とする。

日本医師会 スマホ・パソコンで簡単手続き

医師年金

加入資格は日本医師会会員で64歳6カ月未満の方です
(申込みは、満64歳3カ月までをお願いします。)

医師年金HP画面

アニメーションで仕組みを確認



シミュレーションで受給額や保険料を試算



一括払専用加入申込書プリントアウトで
申込み(保険料のお支払いは後日ご案内します)



20220401S23

お問い合わせ先

日本医師会 年金福祉課 ☎03-3942-6487(直通)(平日9時半～17時)

宣 言

2025年、我が国は団塊の世代がすべて後期高齢者となる超高齢社会に突入し、2040年には高齢者人口のピークと生産年齢人口の急減という社会構造の大転換期を迎える。この未曾有の変化に向き合う今こそ、国民皆保険制度を堅持し、医療・介護の切れ目ない連携によって地域社会を支える持続可能な医療提供体制の構築が求められている。

しかしながら、急激な物価高騰や賃金上昇の影響を受け、公定価格で運営する医療機関等の経営は極めて厳しい状況に直面している。日進月歩で進化する医療技術への対応、医療DXの推進、人材確保といった課題も山積しており、現場はかつてない試練に立たされている。次期診療報酬改定はこれからの社会保障のあり方を大きく左右するものであり、地域医療を守るために必要な財源確保を強く要望する。

また、我々医療関係者には、災害や新興感染症などの有事への対応も求められている。九州各県医師会は平時から相互の連携に努め、災害時の医療支援体制の強化や実効的な研修を実施するとともに、各地域において災害に強くかつ住民を守る医療提供体制の構築を目指す。

さらに、医師会が専門家集団としての役割を発揮し、山積する課題に一丸となって取り組むためには、勤務医を含むすべての医師が結集することが重要であり、若い医師を中心に入会促進を図り、更なる組織力強化に努めていく。

九州医師会連合会は、医療の未来を守る決意を新たにし、日本医師会および地域医師会と連携して、諸課題に一致団結して取り組んでいくことをここに宣言する。

令和7年11月29日

第125回九州医師会連合会総会

決 議

我々九州医師会連合会は、政府に対して、次の事項を強く要求する。

- 一. 国民皆保険制度の堅持
- 一. 社会保障制度充実のための適切な財源の確保
- 一. 賃金・物価の上昇に対応できる診療報酬制度の構築
- 一. 新興感染症や災害時に備えた医療提供体制の確保
- 一. 医療人材の確保と看護師、准看護師の継続的な養成
- 一. 地域の実情に合わせた新たな地域医療構想の推進
- 一. 医療DXの適切な推進
- 一. 医薬品供給不安に対する迅速な対応
- 一. 医療費削減を目的とした過度なセルフメディケーションや拙速なスイッチOTC化の議論の見直し

以上、決議する。

令和7年11月29日

第125回九州医師会連合会総会

医学会 特別講演Ⅰ

演題 「地域医療構想を含む医療界の課題」

講師 厚生労働省 医政局長 森光 敬子 先生

2040年を見据えた地域医療再構築、医療人材の確保、省力化の3つの課題が示された。

地域医療構想では、過去10年で総病床数は目標にほぼ到達したものの、急性期が過剰、回復期が不足するなど機能の偏在が残った。今後、85歳以上人口が2040年に1,000万人を超え、救急搬送は75%増、在宅医療ニーズは64%増と推計される。高齢者の救急搬送は軽症・中等症が多く、特に高齢者施設からの搬送増が見込まれる。疾病構造も変化し、急性期での手術件数は減少が続く。これらをふまえ、地域ごとに医療機関の役割を明確化する「医療機関機能」が新設され、病床機能も高齢患者の急性期を含む「包括期機能」へ再整理される。医療法改正では精神病床の位置付けや外来医師過多区域での調整、医療DX・オンライン診療基準の整備も進む。

医療人材の確保では、医師偏在が深刻化し、医師少数県の目標達成は十分ではない。地方では診療所医師の高齢化が進み、医療の縮小が人口減少を上回るペースで発生している。重点支援区域に対する経済的インセンティブや診療所承継支援、外来医師過多区域での開業調整など、地域単位での偏在是正が本格化している。診療科偏在も問題で、特に整形外科、皮膚科、眼科など生活に密着した専門科が地方で不足しており、オンライン診療等の活用による補完が求められる。看護師養成の定員割れも深刻であり、遠隔授業や大学連携など養成基盤維持のための仕組みづくりが課題となる。女性医師の離職率の高さも依然として大きな問題である。

省力化では、DXやAIを用いた業務効率化の取組みが紹介されたが、単独の機器導入では効果が限定されるため、人員基準の見直しと一体的に進める必要性が強調された。機器の標準化や共通プラットフォーム構築など、計画的な導入体制が求められている。

医学会 特別講演Ⅱ

演題 「歴史に学び、未来を読む」

講師 歴史家・作家 加来 耕三 氏

歴史を単なる知識としてではなく、仕事や日常の判断に生かすための「立ち止まって考える姿勢」の重要性が繰り返し語られた。歴史学は結果だけを追っても意味がなく、「なぜそうなったのか」「もし違う選択をしていたらどうなったか」と問い続けることで初めて価値が生まれる。しかし現代の多くの人は、小説やドラマといった物語の影響を強く受け、史実とは異なるイメージを信じてしまう。特に日本史では、物事の始まりを探る「0から1」の視点が欠けがちであり、秀長が秀吉の家臣となった理由や『源氏物語』が成立した背景など、本質的な要因が見過ごされると指摘された。日本人が歴史上生き延びてきた要素として、独自の文字であるひらがなと、自然環境に向き合い続けてきた稲作文化の二つが挙げられた。

誤解されてきた人物像として徳川家康の例が示され、家康が温厚という通俗的イメージとは異なり、実際には短気な資質を持ち、遺訓も明治期の創作であることが紹介された。織田信長についても、桶狭間の奇襲だけが強調されがちだが、本来は批判にも耐える冷静な人物であったという。

家の存続という観点では「優れた二代目」の存在が鍵であり、秀忠は家康を立てつつ黒子に徹した賢明な後継者であったと評価された。家康が長期政権を築けた理由として、人材を排除せず活かす「寛容さ」が最大の強みであり、これが信長や秀吉と大きく異なる点だとされた。

未来予測として「近現代40年アップダウン説」が示され、1985年から40年後の今年は再び転換点にあたる可能性があるという指摘された。さらに易学の60年周期も重ね合わせ、今年は不満や不正が噴き出す節目とされる。

歴史が教える最大の教訓は油断しないことであり、自らの組織で起こりつつある問題を見極め、勇気を持って対処する姿勢が不可欠であると強調された。

日医インターネットニュースから

■学校医の役割明確化と業務合理化を — 日医総研WP —

日医総研は、学校医に関する課題を把握・分析し、適切な情報発信につなげることを目的に、学校医に対するアンケート調査を行い、ワーキングペーパー（WP）にまとめた。学校医の不足に対しては、役割の明確化と業務の合理化、医師不足地域での勤務医による学校医の代替、内科医・若手医師に対する認識の醸成などの対応策を挙げた。学校健康診断の在り方については、学校医の負担軽減のため、実施時期や項目を見直す必要性などに言及している。

アンケートは、都道府県・郡市区医師会に所属する学校医を対象に2023年度の状況について調査。延べ5077人の回答を分析した。

回答者の年齢は、中央値・ピーク値ともに60～64歳（20.7%）。診療科は内科（73.5%）、耳鼻咽喉科（11.3%）、眼科（10.7%）の順で、小児科は1.3%だった。

1人当たりが受け持つ学校数は平均2.8校。「1校」が43.5%を占める一方、「5校以上」の回答も17.1%に上った。耳鼻咽喉科（6.2校）や眼科（4.9校）の医師で受け持つ校数が多く、1校当たりの平均出務回数で見ると内科（3.8回）や小児科（3.0回）が多かった。

学校医活動の報酬額に「課題がある」との回答は30.5%。受け持つ校数が多いと、報酬額に課題を感じる傾向にあった。学校医不足に関する課題については、▽開業医の減少▽高齢医師に頼らざるを得ない状況▽学校医1人で担当する校数や診る人数が多すぎる—などが挙げられた。

●学校健康診断「学校医の努力の上に成立」

学校健康診断については、96.0%が「規定の

期間内に実施」し、95.3%が「規定の項目を実施」していた。これについてWPでは、「ほとんどの回答者が学校保健安全法の規定通り行っていたが、これは学校医の並々ならぬ努力の上に成り立っていると言える」と指摘。学校医1人当たりの負担軽減を考えた場合、実施時期の延長や項目の見直しに関する検討が必要だと訴えている。

また、脱衣を伴う健康診断の在り方にも言及。日医と文部科学省が24年9月に共同作成したリーフレット「学校健康診断実施上の留意点」のさらなる周知が望ましいとしている。

（令和8年2月10日）

■医療費不払い外国人、報告基準引き下げ — 4月から「1万円以上」に —

医療費不払いのある訪日外国人受診者の情報を共有する「訪日外国人受診者医療費未払情報報告システム」について、医療機関に報告を求める際の基準が現行の20万円以上から1万円以上に下がる。4月1日以降に発生した未収金を対象にする。厚生労働省が2月4日付の事務連絡で周知した。

2021年から運用されている同システムは、医療機関で医療費が20万円以上未払いとなった訪日外国人受診者の情報を収集し、出入国在留管理庁に共有。その後の入国審査で活用する。

政府の関係閣僚会議は1月、「外国人の受入れ・秩序ある共生のための総合的対応策」を決定。その中で「医療費の不払いがある訪日外国人に対する厳格な審査について、対象となる不払い額を20万円以上から1万円以上に引き下げ、新たな医療費の不払いの発生を抑止する」と盛

り込んだ。今回の方針はそれを踏まえたもの。

厚生省が発出した事務連絡は「訪日外国人受診者医療費未払情報報告システムに係る運用変更について」。

(令和8年2月10日)

■医薬品流通情報システム、4月にも稼働

— 厚生省、検索も可能に —

厚生労働省は4月をめどに「医薬品安定供給・流通確認システム」を稼働する。医療用医薬品の供給情報の検索や、類似品の情報が確認できる。医政局医薬産業振興・医療情報企画課が2月6日付の事務連絡で、医療関係者に新システムの概要を周知した。

医薬品の供給状況は現在、製薬企業からの報告に基づいて同省のサイトにエクセル表で掲載している。新システムの稼働で、医療現場の利便性向上や製薬企業の報告負担軽減を図る。

新システムでは、成分名や製品名等での検索や類似品の供給情報の確認が可能。行政サービス利用のための「GビズID」アカウントを作成すれば、登録した特定の製品の出荷状況の変更をメールで受け取ることもできる。システム開始直後からメール通知機能を利用するには、3月中旬までにアカウントを作成する必要がある。

(令和8年2月13日)

■「極めて重要な改定」と評価

— 26年度改定 日医・松本会長 —

日医の松本吉郎会長は2月13日、2026年度診療報酬改定について「インフレ下での今後の道しるべとなる極めて重要な改定だ」と評価した。前回改定から引き続き課題となった賃上げ対応では、外来・在宅ベースアップ評価料について「医科診療所で約4割の届け出にとどまっていることから、初・再診料に溶け込ませることができなかった」と説明。今後さらに届け出が増え、人材流出に一定の歯止めがかかるよう、周知徹底と届け出の呼びかけに努める考えを示した。

中医協が同日、26年度改定を答申したことを受け、日本歯科医師会、日本薬剤師会と共に会見した。

松本会長は、26年度改定について「医療・介護分野は、賃金・物価上昇分を価格に転嫁できないことから、経営状況が著しく逼迫しているという窮状に理解が得られた」と説明。日医が主張した、▽賃金・物価上昇対応分を別枠で確保▽いわゆる「真水」での財源確保▽25年度補正予算を土台としたさらなる対策—の3点に対応した、「今後の道しるべとなる極めて重要な改定」と述べ、高市早苗首相はじめ関係者に改めて感謝の意を示した。

(令和8年2月17日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) >メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID：会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)

医師協同組合だより

宮崎県医師協同組合は、

1985年10月に設立されました。これからも相互扶助の精神に基づき、県医師会・郡市医師会と連携し、主に医業・保険・くらしのサポートを提供しながら、組合員先生方の経済的地位の向上と医業経営の支援に取り組めます。

主な事業内容



医業経営
支援事業

事業承継サポート事業
医師無料職業紹介
(ドクターバンク)



各種
相談事業

当組合顧問弁護士による
無料法律相談
提携銀行による個別の金融相談



購買事業

医療用消耗品、医学書・
書籍などのカタログ販売、
医療機器、電子カルテ・
レセコンの斡旋
(医師協割引適用)



保険事業

団体割引を適用した
医師賠償責任保険、所得補償保険、
自動車・火災保険・団体定期保険
(グループ生命共済)などの販売



斡旋事業

分譲マンション・戸建住宅、
車両などの斡旋
(医師協割引適用)



カード事業

宮崎県内の医療従事者
だけが取得できる
永年会費無料の優遇カード
(当組合メディカルカード)の提供

各種お申し込み・お問い合わせ先



MIYAZAKI Medical Cooperative Association

宮崎県医師協同組合

〒880-0023

宮崎市和知川原1丁目101宮崎県医師会館1F

TEL 0985-23-9100

平日 9:00~17:30

FAX 0985-23-9179

Mail isikyou@miyazaki.med.or.jp



当組合ホームページを
ご覧ください



2月のベストセラー（宮崎県）

集計：2026年2月1日～2月22日

1	科学的に証明されたすごい習慣	堀 田 秀 吾	SBクリエイティブ
2	ほどなく、お別れです	長 月 天 音	小学館文庫
3	神の蝶，舞う果て	上 橋 菜穂子	講 談 社
4	BUTTER	柚 木 麻 子	新潮文庫
5	覚悟の磨き方	池 田 貴 将	サンクチュアリ出版
6	カフェーの帰り道	嶋 津 輝	東京創元社
7	生きとるわ	又 吉 直 樹	文藝春秋
8	一次元の挿し木	松 下 龍之介	宝島社文庫
9	変な地図	雨 穴	双葉社
10	介護未満の父に起きたこと	ジェーン・スー	新潮新書

明林堂書店調べ 提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方） ☎ (0985) 56-0868

医療事故調査制度

宮崎県医師会 相談窓口電話 0985-22-5118

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。
医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

【受付時間】

平日の9時から17時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話（0985-22-5118）で対応いたします。

時間外または土日祝日などで県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の「医療事故調査・支援センター相談専用電話（03-3434-1110）」にご連絡ください。

【制度の目的】

本制度は医療法の「第3章医療の安全の確保」に位置づけられており、6条の11において「病院等の管理者は、医療事故が発生した場合には、厚生労働省令で定めるところにより、速やかにその原因を明らかにするために必要な調査（「医療事故調査」という）を行わなければならない」と規定されています。本制度は、医療の安全のための再発防止を目的とし、原因を調査するために、医療機関が自主的に医療事故を調査し、再発防止に取り組むことを基本としており、責任追及を目的としたものではありません。



令和8年1月6日(火) 第9回常任理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について
 - ①「東九州メディカルバレー構想宮崎県推進会議」に係る委員の推薦について
→現委員の任期途中ではあるが、本会の担当役員の変更に伴い、地域医療担当の玉置常任理事を推薦することが承認された。
2. 3/1(日)医療事故調査制度に係る「支援団体統括者セミナー」の開催について
医療事故調査制度による院内調査を行うにあたっての知識・技能を習得するためのセミナーで、吉見常任理事と事務局、宮崎生協病院の医師1名、看護師1名が参加することが承認された。
3. 5/23(土) (福岡)九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議における日医各種委員会の報告希望委員会について
報告を聞きたい日医委員会があれば事務局に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。
4. 5/23(土) (宮日会館)講師派遣依頼について
県柔道整復師会会員の資質向上を目的に開催する学会への講師派遣依頼があり、県整形外科医会に人選をお願いすることが承認された。
5. 2/21(土)都道府県医師会「警察活動協力医会」連絡協議会・学術大会の開催について
各都道府県医師会の警察活動に協力する医師の部会の連携と日医や関係省庁との情報共有等を図ることを目的に開催される会で、玉置理事の出席と県警察医会から1名の出席が承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 12月末日現在の会員数について
3. 12/25(木) (日医)日医有床診療所委員会について
4. 1/5(月) (宮観ホテル)新年賀詞交歓会について
5. 12/25(木)日医医療秘書養成カリキュラム教科書改訂に関する検討会について
6. 12/25(木) (九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
7. 12/1(月)~12/23(火)かかりつけ医認知症対応力向上研修会について
8. 12/24(水) (県医)県認知症高齢者グループホーム連絡協議会臨時理事会について
9. 10/2(木)~12/31(水)生活習慣病検診従事者研修会について

令和8年1月13日(火) 第19回全理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について
 - ① 2/15(日) (宮崎)パーキンソン病とALSの遺伝子治療に関する講演会名義後援依頼について
→県内の患者、家族、医療関係者を対象

に、最新情報を伝えることを目的に開催される講演会で、名義後援を行うことが承認された。

② 3/27(金) (県医) 日本医業経営コンサルタント協会宮崎県支部研修会後援名義使用のお願いについて

→本会会員や医業経営コンサルタント会員を対象に、医業経営に関する講演が行われる研修会で、名義後援を行うことが承認された。

③ 2/27(金) (県民文化センター) 県民生委員児童委員大会の開催及び後援名義の使用許可について

→民生委員・児童委員活動の充実に目的に開催される大会で、名義後援を行うこと及び式典については欠席をすることが承認された。

④ 2/15(日) (宮崎市) 県作業療法士会ひだまりフェスタ後援名義の使用許可について

→県内の作業療法士等を対象に、作業療法の普及、多職種連携強化を目的に開催される講演会で、名義後援を行うことが承認された。

2. 厚生功労に係る令和8年秋の叙勲及び褒章候補者の推薦について

1名を推薦することが承認された。

3. 1/27(火) (県医) 各郡市医師会長協議会の提案事項に対する対応について

延岡市医師会からの提案事項①は大塚常任理事、②は嶋本常任理事、日向市東臼杵郡医師会からの提案事項は、高木常任理事が回答することが承認された。

4. 2/25(水) (県医) 県医師会創立137周年記念医学会の開催について

Webと現地のハイブリッド方式で開催すること及び開会前に県医師会役員が別会場

で医神祭を執り行うことが承認された。また、プログラムと当日の役割分担が確認された。

5. 3/13(金) (日医) 臨床検査精度管理調査報告会の開催について

日本医師会が行った臨床検査精度管理調査の分析・結果検討を行い臨床検査の質的向上に資することを目的に開催される報告会で、出席者については県臨床検査技師会に依頼をすることが承認された。

6. 令和8年花粉情報の協力について

例年通り、宮崎・都城・延岡の定点観測機関及び宮崎大学の協力を得て、花粉観測及び報道機関等への花粉情報提供に協力することが承認された。観測期間は1/31～4/30、情報提供期間は2/1～4/15。

7. 1/23(金) (熊本) 令和7年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第2回)の開催について

地域のメディカルコントロール協議会に関わっている医師を対象に開催される連絡会で、救急災害医療担当理事1名が参加することが承認された。

(報告事項)

1. 1/9(金) (県庁) 県地域医療構想調整会議について

2. 1/9(金) 県依存症対策推進協議会について

3. 1/8(木) (宮大医学部) 宮崎大学医学部医の倫理委員会について

4. 1/11(日) (日医) 日医JMAT研修会(基本編)について

5. 12/24(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会・労災部会理事会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 1/27(火) (JAアズム) 県内経済団体代表者

による「宮崎を語る会（第2回）」の開催について

河野委員長が出席することが承認された。

（報告事項）

1. 1/10(土)（宮観ホテル）三師会合同新春懇談会について

令和8年1月27日(火) 第20回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

1. 会費減免申請について

高齢による日医・県医会費減免の9名、高齢による日医会費減免の1名、高齢による県医会費減免の6名の申請が承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①性と生殖に関する検討会委員の推薦及び就任について

→人工妊娠中絶の背景の調査、分析、検討を行い、望ましい妊娠・出産に有効な施策を推進するための協議会で、県医師会卒で嶋本常任理事を、県産婦人科医会卒で川越靖之先生を推薦することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①6/13(土)（ニューウェルシティ宮崎）第15回2026年度「在宅を支える多職種交流会」名義後援のお願いについて

→「心不全ケアをもっとやさしく、もっと楽しく」をテーマに在宅医療・ケア関係職種を対象に開催される多職種の交流会で、名義後援を行うことが承認された。

②9/19(土)～21(祝・月)（宮崎市）日本ロービジョン学会学術総会における後

援名義使用の許可について

→「ロービジョンケアのイノベーション」

をテーマに開催される学術総会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 令和8年度本会代議員会・役員選挙等に向けてのスケジュールについて

法定の理事会を3月10日(火)と6月2日(火)に開催することが承認され、臨時代議員会を5月26日(火)、定例代議員会を6月20日(土)に開催することを念頭に諸会議及び役員改選の準備を進めていくこと等が確認された。

5. 宮崎県医師会次期代議員及び次期予備代議員の選出について

次期代議員及び次期予備代議員の選出について、定款等に基づき各郡市医師会に依頼することが承認された。なお、定数については、令和7年12月1日の会員数に応じ1名増の40名で決定された。宮崎大学医学部医師会が1名増となる。

6. 6/14(日)宮崎県医師会館施設使用願いについて

県透析医会から、大規模災害時における透析施設間の連携を確認するための訓練を行うために日曜日の県医師会館の使用許可願いがあり、使用目的を勘案し許可することが承認された。

7. 日本医師会認定医療秘書養成の中止及び認定養成機関の退会について

これまで日本医師会認定医療秘書の養成を行っていた宮崎学園短期大学が令和8年3月をもって養成を終了することに伴い、本県に養成校が無くなったことから、本会としても、全国医師会医療秘書学院連絡協議会の退会手続きを進めることが承認された。

8. 2/16(月)都道府県医師会予防接種担当理事連絡協議会の開催について

予防接種事務のデジタル化に係る集合契約の契約概要および医師会で対応を要する

事項、並びにデジタル化を実証事業として先行実施している自治体の取組状況等を情報共有したうえで、地域の意見を伺うことを目的とした協議会で、峰松理事と上山理事が出席し、高木常任理事はオンデマンド聴講することが承認された。

9. 2/19(木)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会いについて

4 医療機関を対象に行われる新規個別指導で、佐々木理事を立会人として派遣することが承認された。

10. 3/1(日)(日医)在宅医療シンポジウムの開催について

在宅医療を実践する様々な立場からの取り組みを通して、通院困難となった患者さんの暮らしを住み慣れた地域で支えるために、今後の在宅医療の提供体制やあるべき姿を考える機会とするためのシンポジウムで、金丸副会長が出席することが承認された。

11. 2・3月の行事予定について

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 1/14(水)(支払基金)支払基金審査運営協議会について

3. 1/14(水)(宮観ホテル)宮崎市郡医師会新年例会について

4. 1/20(火)(日医)都道府県医師会長会議について

5. 1/23(金)(県医)日医財務委員会について

6. 1/21(水)(日医)日医地域医療対策委員会について

7. 1/14(水)・22(木)(県医)広報委員会について

8. 1/15(木)日医医業経営検討委員会について

9. 1/15(木)(県医)発達障害診断医養成研修会について

10. 1/15(木)・16(金)社会保険医療担当者の特定共同指導について

11. 1/27(火)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

12. 1/27(火)(県防災庁舎)性と生殖に関する調査検討会について

13. 1/15(木)(川南町)・1/26(月)(国富町・新富町)ロコモ予防運動推進事業普及講座について

14. 1/20(火)(県医)組織強化・将来構想委員会小委員会について

15. 1/21(水)(宮大医学部)医局員に対する医師会活動説明会【皮膚科学】について

16. 1/22(木)(国保連合会)県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について

17. 1/23(金)(ホテルメリージュ)県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について

18. 12/7(日)・1/25(日)(県医)人体シミュレータを用いた在宅医療研修会について

19. 1/17(土)(福岡)九州ブロック災害医療研修会/九医連救急・災害医療担当理事連絡協議会について

20. 1/21(水)(県医)臨床研究倫理審査委員会について

21. 1/14(水)(日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 次期衆議院選挙における推薦候補者との政策協定の締結について

候補者と政策協定を締結することが承認された。

(報告事項)

1. 1/20(火)(日医)日医連執行委員会について

2. 1/27(火)(JA-AZMホール)県内経済団体代表者による「宮崎を語る会」について

県 医 の 動 き

(2月)

1	日医未来医師会ビジョン委員会（大塚常任理事） （沖縄）日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・学術大会（玉置常任理事） 日医医療秘書認定試験	16	人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会（吉見常任理事）
2	県高齢者サービス総合調整推進会議（吉見常任理事） 県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキンググループ（Web会議）（大塚常任理事）	17	県社会福祉審議会（小牧副会長） 組織強化・将来構想委員会（Web会議）（会長他） 日産婦医会性教育指導セミナー全国大会実行委員会（Web会議）（上山理事）
3	日医救急災害医療対策委員会地域包括ケアシステムにおける救急医療ワーキンググループ（Web会議）（落合常任理事） 県公害健康被害認定審査会（峰松理事） 第10回常任理事協議会（会長他）	18	支払基金審査運営協議会（会長） 広報委員会（荒木常任理事他） 南那珂における救急の現状に関する意見交換（金丸副会長他）
4	県医療審議会医療計画等部会（金丸副会長他） 県肝炎対策懇話会（赤須常任理事）	19	（日医）日医広報委員会（荒木常任理事） スポーツ庁委託事業コンソーシアム事業報告会（Web会議）（会長他） 社会保険医療担当者の新規個別指導（佐々木理事） （国保連合会）県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサー治療費審査委員会（大塚常任理事） （日医）日医医療秘書認定試験委員会（池井常任理事） 県認知症疾患医療センター合同会議（Web会議）（吉見常任理事） 医師国保組合理事会（秦理事長他） 医学会誌編集委員会（Web会議）（小牧副会長他）
5	県地域医療対策協議会プログラム運用部会（大塚常任理事） 県地域医療対策協議会（会長他） 県医療的ケア児等支援部会（高木常任理事他）	20	都道府県医師会医療事故調査制度担当理事連絡協議会（Web会議）（小牧副会長他） 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会（Web会議）（吉見常任理事） 医療安全対策Webセミナー（Web会議）（河野理事長他）
6	全国国保組合協会理事長・役員研修会（Web会議）（秦理事長） 九州各県学校保健会長及び学校保健担当者連絡会（Web会議）（会長）	21	県訪問看護ステーション連絡協議会管理者向け研修会（Web会議） 都道府県医師会「警察活動協力医会」連絡協議会・学術大会（Web会議） （福岡）九州地区医師国保組合連合会理事会・全体協議会 県内医師会病院連絡協議会（会長）
7	母体保護法指定医師研修会（Web会議）（嶋本常任理事他） 各郡市医師会等職員研修会（市来常任理事他）	22	かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会（Web会議）（高木常任理事）
8	（日医）日医母子保健講習会（高木常任理事他）	24	県国保連合会理事会・通常総会（Web会議）（秦理事長） 医師協理事会（河野理事長他） 医師協理事・運営委員合同協議会（河野理事長他） 第22回全理事協議会（会長他）
9	県蚊媒感染症対策会議（峰松理事） 介護保険に関する主治医研修会（Web会議）（吉見常任理事） 県生活習慣病検診管理指導協議会乳がん部会（田畑理事） 県小児科医会役員会（Web会議）（高木常任理事）	25	県がん診療連携協議会（金丸副会長） 労災診療指導委員会・労災部会理事会（赤須常任理事他） 日医医療秘書養成カリキュラム教科書改訂に関する検討会（Web会議）（池井常任理事） 医神祭（会長他） 県医師会創立137周年記念医学会（会長他）
10	第21回全理事協議会（Web会議）（会長他）	26	県個人情報保護審議会（荒木常任理事） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会（嶋本常任理事） 県内科医会理事会（玉置常任理事） 第2回医師の働き方改革Web研修会（Web会議）（池井常任理事） 都城北諸県地域医療構想調整会議（金丸副会長）
12	県保険者協議会（小牧副会長他） 県性暴力被害者支援に係る意見交換会（上山理事） 県精神科救急医療システム連絡調整委員会（吉田常任理事他） 県看護協会新人看護職員研修推進協議会（池井常任理事） 県循環器病対策推進協議会（玉置常任理事） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議）（嶋本常任理事他） 日医認定産業医関係小委員会（小牧副会長他）	27	（日医）都道府県医師会事務局長連絡会 宮崎産業保健総合支援センター運営協議会（会長他）
13	県ナースセンター事業運営委員会（池井常任理事他） 県ロコモティブシンドローム対策協議会（Web会議）（大塚常任理事） 県外科医会冬期講演会（Web会議） 県生活習慣病検診管理指導協議会大腸がん部会（玉置常任理事） 広報委員会（荒木常任理事他）	28	医療メディエーター養成研修会（基礎編） レジナビFairオンライン2026宮崎県臨床研修プログラム
14	（福岡）九医連第2回勤務医連絡協議会～勤務医交流会～（金丸副会長他） （福岡）九医連常任委員会（会長） （福岡）九医連第2回連絡協議会（会長他） 自賠責保険研修会（Web会議）（赤須常任理事他）		
15	緩和ケアチーム研修会（内藤理事） （日医）日医JMAT研修会（統括編）（金丸副会長他）		
16	県感染症対策連携協議会（金丸副会長他）		

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和8年2月2日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 12人

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	1	0	1
外 科	1	1	0
整形外科	1	1	0
精神科	2	1	1
脳神経外科	1	0	1
消化器内科	2	0	2
放射線科	1	0	1
総合診療科	1	0	1
産婦人科	1	0	1
老 健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 109人

	合計
令和7年度(4/1～2/2)	5
平成16年度から累計	109

3. 求人登録 101件 288人

(人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内 科	86	65	21	消化器外科	6	3	3
外 科	19	17	2	乳 腺 外 科	2	2	0
整形外科	20	17	3	健 診	2	2	0
精神科	14	12	2	泌尿器科	4	3	1
脳神経外科	2	2	0	産婦人科	0	0	0
循環器科	14	11	3	検 診	0	0	0
消化器内科	20	16	4	皮膚科	0	0	0
麻 酔 科	7	6	1	婦 人 科	0	0	0
眼 科	10	6	4	呼吸器外科	0	0	0
放射線科	9	9	0	人工透析	12	8	4
小 児 科	3	2	1	リウマチ科	2	1	1
呼吸器科	0	0	0	臨床病理科	0	0	0
在宅診療	4	3	1	形成外科	0	0	0
総合診療科・内科	12	9	3	診療科目不問	9	5	4
脳神経内科	2	2	0	緩和ケア	0	0	0
呼吸器内科	9	8	1	内分泌糖尿病内科	3	3	0
リハビリテーション科	5	3	2	そ の 他	5	3	2
救命救急科	7	5	2	合 計	288	223	65

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	整,リハ,神内,循内,脳外	5	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,緩和	5	常勤・非常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	2	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	外,整,総診	3	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,外,呼内,消内,糖内	5	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンプローラムやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診,麻	14	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外	4	常勤・非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ,リウ	6	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整 (いずれか)	2	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	医)マナビヤ マナビヤ在宅クリニック[un]	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230235	医)青葉会 のぎきクリニック	宮崎市	内	5	常勤・非常勤
230241	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230242	さくらメンタルクリニック	宮崎市	精	1	常勤
230243	医)よしき会 どんぐりこども診療所	宮崎市	小	1	常勤
230246	医)灯仁会 あおやま訪問・救急クリニック	宮崎市	救急,内,在宅,総診,不問	10	常勤・非常勤
230247	滝口内科	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230248	社医)耕和会 介護老人保健施設あおしまのいえ	宮崎市	不問	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	公社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230181	医) 社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医) 社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230244	医) 社団清風会 清風会クリニック	都城市	血内,泌,腎内	6	常勤・非常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内,放	4	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
230238	医) en. 縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
230245	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消内, 消外	2	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外	2	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
230239	稲原眼科医院	日向市	眼	1	非常勤
230249	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和8年2月2日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ: 2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地: 2,280.83㎡ (691.16坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり(20台)	所有者: 西都市西児湯医師会員 函師医院跡
	③ 延岡市無鹿町1丁目710 土地: 1,654.58㎡ (501.38坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり(50台)	所有者: (医) 社団 隆豊 江崎医院跡
	④ 日向市財光寺615 土地: 1,704.79㎡ (515.70坪) 建物: 鉄筋コンクリート2階建 1階 333.69㎡ 2階 117.27㎡ 車庫 36.60㎡ 計 487.56㎡ (147.49坪) ※駐車場あり(16台)	所有者: 日向市東白杵郡医師会員 吉田クリニック
	⑤ 延岡市本町2丁目3-5 土地: 893.18㎡ (270.19坪) 建物: 木造スレート葺2階建 1階 173.08㎡ 2階 44.72㎡ 計 217.80㎡ (65.89坪) ※駐車場あり(15台)	所有者: 延岡市医師会員 (医) 社団 戸島クリニック
	⑥ 宮崎市原町12-1 土地: 459.69㎡ (139.06坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 249.20㎡ 2階 184.38㎡ 3階 15.55㎡ 計 449.13㎡ (135.86坪) ※駐車場あり(6台) 別途, 賃貸の駐車場(22台)	所有者: 宮崎市郡医師会員 (医) 青翠会 山本医院
2. 賃貸物件又は譲渡物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地: 4,449㎡ (1,348.18坪) 建物: 鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 都城市東町10街区18号 土地: 614.18㎡ (186.11坪) 建物: 鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡ (293.49坪) ※駐車場あり(3台) 別に隣接病院駐車場あり(応相談) ※賃貸部分は, 2階, 3階(グループホームやすらぎ)	所有者: 都城市北諸県郡医師会員 (医) 与州会 柳田病院
	② 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地: 750.44㎡ (227.40坪) 建物: 木造スレートぶき2階建 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡ (99.62坪) ※駐車場あり(15台)	所有者: 宮崎市郡医師会員 滝口内科 (旧)のぞみ医院跡
	③ 宮崎市大字本郷南方2456番地1 土地: 1801.76㎡ (545.03坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 282.52㎡ (85.46坪) ※駐車場あり(20台)	所有者: 宮崎市郡医師会員 平部整形外科医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179 E-mail: isikyoun@mizayaki.med.or.jp

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和8年2月25日

3		月			
1	日	9：00 医療メディエーター養成研修会(基礎編)	15 日 8：30 ALS研修会		
		10：00 日医医療事故調査制度に係る支援団体統括者セミナー(Web会議)	16 月 14：00 都道府県医師会会員情報担当理事連絡協議会(Web会議)		
		13：30 (日医)在宅医療シンポジウム	19：00 県医学会役員会(Web会議)		
2	月	17：30 県アイバンク協会理事会			
3	火	19：00 第11回常任理事協議会	17 火		
		終了後 母体保護法指定医師審査委員会		13：30 県ドクターヘリ運航調整委員会	
			18：30 県生活習慣病検診管理指導協議会		
			19：00 子宮がん部会		
4	水	15：00 (日医)日医地域医療対策委員会	18 水		
		17：00 県訪問看護ステーション連絡協議会役員会(Web会議)		16：30 支扶基金審査運営協議会・懇談会	
		19：00 県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会		18：30 県生活習慣病検診管理指導協議会肺がん部会	
5	木	13：00 日医救急災害医療対策委員会(Web会議)	19 木		
		17：00 県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会(Web会議)		15：00 (日医)日医有床診療所委員会	
		17：00 (東京)「日本医師会赤ひげ大賞」表彰式・レセプション	20 金	19：00 広報委員会	
		19：00 医師国保組合通常組合会(Web会議)	(春分の日)		
6	金	16：00 (福岡)全国国保組合協会九州支部総会	21 土	12：30 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会(Web会議)	国 保 審 査
		19：00 在宅医療研修会企画小委員会		14：00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会全体研修会(Web会議)	
7	土	12：00 (日医)日医医療情報システム協議会	22 日		↑
		14：55 県産婦人科医会ひむかセミナー(Web会議)		15：00 県メディカルコントロール協議会総会	
		16：00 病院部会・医療法人部会合同医療従事者研修会		19：00 県臨床研修専門研修運営協議会(Web会議)	
		17：00 (鹿児島)鹿児島県医師会役員との救急災害医療に関する意見交換会	23 月		↓
8	日	9：00 県産婦人科医会ひむかセミナー(Web会議)		24 火	
		9：30 (日医)日医医療情報システム協議会	14：00 県総合計画審議会並びに専門部会		
		9：30 (西都市)医師国保組合歩こう会	14：30 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会		
9	月	19：00 県内科医会評議員会	25 水	18：30 医師協理事会(Web会議)	社 保 審 査
		19：00 県リハビリテーション専門職協議会連絡会議		19：00 医師協理事・運営委員会合同協議会(Web会議)	
10	火	19：00 第2回理事会	26 木	終了後 第24回全理事協議会(Web会議)	↑
		終了後 第23回全理事協議会		15：00 労災診療指導委員会・労災部会理事会	
11	水	15：00 (日医)日医公衆衛生委員会	27 金	13：00 都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会	↓
		19：00 JMAT・JRAT合同研修会		18：00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	
12	木	14：00 社会保険医療担当者の集団的個別指導	28 土	19：00 医師国保組合理事会	↑
		18：00 (東京)日医未来医師会ビジョン委員会 自民党青年局との意見交換会		16：00 (東京)全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会・運営委員会	
		19：00 県産婦人科医会全理事会(Web会議)			
		19：00 医療機関税制Webセミナー(Web会議)	29 日	9：00 (日医)九プロ日医代議員連絡会議	↓
13	金	13：00 (大分)日医医師会共同利用施設検討委員会		9：30 (日医)日医臨時代議員会	
		13：30 宮大経営協議会			
		16：00 (福岡)九医連事務局長連絡協議会	30 月		↓
14	土	19：00 広報委員会			
		19：00 県外科医会理事会(Web会議)	9：00 (日医)九プロ日医代議員連絡会議		
		9：00 ICLS指導者養成ワークショップ	31 火		↓
		16：00 (福岡)九医協連購買・保険部会			

※都合により、変更になることがあります。
 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和8年2月25日

4		月		
1	水		17 金 19:00 県外科医会理事・評議員会	↑↑ 国 保 審 査 ↓
2	木		18 土	
3	金		19 日 10:00 (日医)日医学校保健講習会	
4	土	14:00 (沖縄)男女共同参画フォーラム	20 月	
5	日		21 火	
6	月		22 水	
7	火	18:30 九州厚生局宮崎事務所等との保険医療機関の指導計画等打合せ(Web会議)	23 木	
		19:00 第1回常任理事協議会	24 金	
8	水		25 土 15:00 県臨床研修医説明会・講演会 15:00 県産婦人科医会・県産科婦人科学会春期定時総会・学術講演会(Web会議) 18:40 新研修医祝賀会	
9	木	16:00 (日医)日医医業経営検討委員会 19:00 県産婦人科医会・県産科婦人科学会合同打合せ会(Web会議)		
10	金		26 日	
11	土	(福岡)九医連常任委員会	27 月	
12	日		28 火 18:30 医師協理事会 19:00 医師協理事・運営委員合同協議会 終了後 第2回全理事協議会	
13	月			
14	火	19:00 第1回全理事協議会(Web会議)	29 水	
15	水	16:00 支払基金審査運営協議会	30 木	
16	木			

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

[現地]…現地参加のみ [現地・Web]…現地参加またはWeb聴講

[Web]…Web聴講のみ ※Webの場合，会場は記載いたしません。



詳細および最新情報はこちら

宮崎市郡内科医会学術講演会

3月2日(月) 19:00~20:00 [Web]

「ジェネラリストからみた認知症BPSDの治療戦略(仮)」

医療法人博光会御幸病院 院長 西上 和宏

主催：宮崎市郡内科医会

共催：大塚製薬(株)

連絡先：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位)：29 (1.0)

宮崎市郡外科医会春期講演会

3月2日(月) 19:00~20:00 [現地]

宮崎観光ホテル

「外科医にも知ってほしい産婦人科の現況」

宮崎市郡医師会病院 産婦人科，

周産期センター 部長・センター長 牧 洋平

主催：宮崎市郡外科医会

連絡先：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位)：0 (1.0)

第204回宮崎心臓病研究会

3月3日(火) 18:50~20:20 [現地・Web]

宮崎観光ホテル

「基礎と臨床をつなぐ循環器精密医療」

東京大学大学院医学系研究科

先端循環器医学講座 特任准教授

システム循環器学研究室グループリーダー

野村 征太郎，他

他演題あり

主催：宮崎心臓病研究会

共催：日本ライフライン(株)

連絡先：宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

CC(単位)：9 (1.0)

南那珂医師会生涯教育医学会

3月3日(火) 19:00~20:30 [現地・Web]

南那珂医師会館

「南那珂地区における糖尿病関連腎臓病重症化予防の取り組み～血圧管理の重症性を含めて～」

日南市立中部病院 院長 中津留 邦展

「食塩×高血圧関連の話題について(仮)」

みずの内科・血圧心臓クリニック 院長

水野 雄二

主催：南那珂医師会 ☎0987-23-3411

共催：大塚製薬(株)，ノバルティスファーマ(株)

CC(単位)：12 (0.5)，82 (1.0)

都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会

3月3日(火) 19:00~20:00 [現地・Web]

未来創造ステーション

「不眠症治療 up to date～不眠症状改善と日中機能の向上を含めて～」

宮崎大学医学部 臨床神経科学講座

精神医学分野 教授

平野 羊嗣

主催：都城市北諸県郡内科医会

共催：塩野義製薬(株)

連絡先：都城市北諸県郡医師会

☎0986-22-0711

CC(単位)：20 (1.0)

宮崎市郡内科医会学術講演会

3月5日(木) 19:00~20:00 [現地・Web]

KITENビル

「CKD診療の現状と課題」福岡大学筑紫病院 診断部長 安野 哲彦, 他
他演題あり

主催：宮崎市郡内科医会

共催：(株)アステム

日本ベーリンガーインゲルハイム(株)

後援：宮崎市

連絡先：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位)：12 (1.0)

延岡医学会学術講演会

3月6日(金) 19:00~20:00 [現地・Web]

キャトルセゾンマツイ

**「マンジャロ外来活用ガイド～外来での伝え方
と診療のコツ～」**

石橋医院 院長 石橋 興介

主催：延岡医学会

共催：田辺ファーマ(株), 日本イーライリリー(株)

後援：延岡内科医会

連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300

CC(単位)：76 (1.0)

第74回宮崎県スポーツ学会

3月7日(土) 15:00~19:00 [現地]

宮崎大学創立330記念交流会館

「膝スポーツ損傷に対する運動器超音波診療」

金沢大学医学部整形外科 講師 中瀬 順介

主催：宮崎県スポーツ学会

共催：宮崎県整形外科医会, 久光製薬(株)

後援：宮崎県医師会

連絡先：宮崎大学医学部整形外科

☎0985-85-0986

CC(単位)：61 (1.0)

日医認定健康スポーツ医学再研修会：1単位

参加費：1,000円

宮崎県医師会病院部会・医療法人部会合同医療従事者研修会

3月7日(土) 16:00~18:40 [現地]

シーガイアコンベンションセンター

**「心をつなぐコミュニケーション～選ばれる病院
になるために～」**

(株)Career Peko 代表取締役 横山 由美

主催：宮崎県医師会病院部会・医療法人部会

☎0985-22-5118

CC(単位)：0 (1.0)

肥満症と心血管リスクについて考える会

3月9日(月) 19:00~20:40 [現地・Web]

KITENビル

**「肥満患者における血栓症～症例提示と当科研究
の紹介～」**

宮崎大学医学部 内科学講座

循環器・腎臓内科学分野 循環器グループ 助教

山本 紗子

**「MASLDを合併した心血管疾患入院患者における
糖尿病と予後の関連～循環器疾患診療実態調査
(JROAD) データ解析～」**

宮崎大学医学部 内科学講座

循環器・腎臓内科学分野 循環器グループ 助教

小牧 聡一

**「GLP-1受容体作動薬の臓器横断的ベネフィット：
循環器内科医の視点から」**

宮崎大学医学部 内科学講座

循環器・腎臓内科学分野 循環器グループ 准教授

松浦 祐之介

主催：肥満症と心血管リスクについて考える会

共催：ノボノルディスクファーマ(株)

☎080-9687-8822

後援：宮崎県医師会

CC(単位)：73 (1.5)

日向市東臼杵郡医師会学術講演会

3月10日(火) 19:00~20:00 [Web]

**「片頭痛診療におけるアンメット・メディカル・
ニーズ」**

医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 院長

上田 孝

主催：日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

共催：日向市東臼杵郡医師会内科医会

第一三共(株)

CC(単位)：30 (1.0)

令和7年度第3回都城市CKD予防連携医研修会

3月10日(火) 19:00~20:15 [現地・Web]

未来創造ステーション

「2型糖尿病治療薬の投与戦略~DKD予防を考 えて~」

大垣市民病院 糖尿病・腎臓内科 部長

柴田 大河

主催：都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711

共催：ノボノルディスクファーマ(株)

後援：都城市

CC(単位)：11 (1.0)

いろはに漢方

3月11日(水) 19:00~20:00 [Web]

「かかりつけ漢方養生医になるためのちぐさ式養 生指導箋のすすめ

ジェンダーに着目した漢方治療

小青竜湯や婦人科3大処方の次の一手」

ちぐさ東洋クリニック 院長 川越 宏文

主催：宮崎県医師会東洋医会

共催：クラシエ薬品(株) ☎092-291-8131

CC(単位)：83 (1.0)

令和7年度宮崎JMAT・宮崎JRAT合同研修会

3月11日(水) 19:00~20:35 [現地・Web]

宮崎県医師会館

「JRATの役割と未来への展望」

宮崎大学医学部附属病院

リハビリテーション部 教授・部長

荒川 英樹

「JMATのあり方と将来の展望」

日本医師会 常任理事

細川 秀一

主催：宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

CC(単位)：14 (1.0)

西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会

3月12日(木) 19:00~20:00 [現地]

西諸医師会館

「大腸腫瘍の内視鏡治療と経過観察」

福岡大学 筑紫病院消化器内科 教授

久部 高司

主催：西諸医師会 ☎0984-23-2113

共催：西諸内科医会

CC(単位)：50 (1.0)

都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会

3月12日(木) 19:00~20:00 [現地・Web]

ホテルTERRASTA

「新時代の2型糖尿病治療~新しい糖尿病治療薬 への期待~」

潤和会記念病院 糖尿病・代謝内科 部長

水田 雅也

主催：都城市北諸県郡内科医会

共催：住友ファーマ(株)

連絡先：都城市北諸県郡医師会

☎0986-22-0711

CC(単位)：76 (1.0)

宮崎市郡医師会産業医研修会

3月14日(土) 14:30~16:30 [現地]

宮崎市郡医師会館

「快適職場環境を目指して~ハラスメントの理解 と対策~」

串間市民病院

江藤 敏治

「うつ病等で休職している方の職場復帰支援（リ
ワーク支援）について~具体的な内容や事例を
交えて~」

(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構

宮崎障害者職業センター

図師 瑞

主催：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位)：5 (1.0), 70 (1.0)

基礎研修・生涯研修の実地研修会 2 単位

宮崎県医師会東洋医学会学術講演会

3月14日(土) 17:30~19:00 [現地・Web]

KITENビル

「基礎研究およびリアルワールド臨床データを用いたの漢方薬の作用機序ならびに効果の解明
～六君子湯, 加味帰脾湯, 牛車腎気丸を中心に～」
東京慈恵会医科大学 疼痛制御研究講座 特任教授
東京慈恵会医科大学
先端医学推進拠点群痛み脳科学センター
センター長
国立がん研究センター東病院
支持・緩和ケア開発支援室 特任研究員
上園 保仁

主催：宮崎県医師会東洋医学会

共催：(株)ツムラ ☎0985-28-9663

CC(単位)：83(1.5)

令和7年度西都児湯地域糖尿病対策研修会

3月17日(火) 18:30~20:00 [現地・Web]

高鍋保健所

「最新の糖尿病治療, 糖尿病対策における多職種連携の必要性について(仮)」
医療法人社団紘和会 平和台病院 副院長
天野 一志

主催：高鍋保健所 ☎0983-22-1330

CC(単位)：76(1.0)

宮崎市産婦人科医学会3月例会学術講演会

3月18日(水) 19:00~20:00 [Web]

「地方大学における周産期医療体制強化への取り組み～高知県における胎児診断・出生前医療・人材育成の実践～」
高知大学医学部 産科婦人科学講座 教授
永井 立平

主催：宮崎市産婦人科医学会

共催：科研製薬(株)

連絡先：宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

CC(単位)：2(1.0)

延岡医学会学術講演会

～心房細動と高血圧診療を考える～

3月27日(金) 19:00~20:30 [現地・Web]

キャトルセゾンマツイ

「高齢化地域における心房細動のトータルマネジメント」
県立延岡病院 循環器内科 医長 伊藤 美和
「左室肥大合併高血圧の治療
ESES-LVH試験からみたエサキセレンオンへの期待
～JSH2025の話題も含めて～」
熊本大学大学院生命科学研究部 循環器内科学
教授 辻田 賢一
主催：延岡医学会
共催：第一三共(株)
連絡先：延岡市医師会 ☎0982-21-1300
CC(単位)：43(0.5), 74(0.5)

第214回宮崎県眼科医学会講習会

4月18日(土) 16:00~19:00 [現地]

KITENビル

「第2世代抗VEGF薬を用いた新生血管型加齢黄斑変性の治療戦略」
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科
先進治療科学専攻 感覚器病学講座 眼科学分野
教授 寺崎 寛人
「近視進行抑制治療における自由診療」
はら眼科 院長 原 信哉
主催：宮崎県眼科医学会 ☎0985-28-1015
共催：参天製薬(株), バイエル薬品(株)
CC(単位)：36(2.0)
参加費：3,000円

お知らせ

勤務医・研修医の先生へお知らせ
～春の異動シーズンに備えて～

春の異動シーズンが近づいて来ました。

勤務先が変わる、自宅住所が変わる、初期研修を終える、卒後6年目となる先生は、「医師会会員情報システムMAMIS」(<https://mamis.med.or.jp/>)で、手続きが必要です。下記をご覧のうえ、必ずお手続きをお願いします。

初めてログインする場合の初期IDとパスワードが不明な方は、下記の「医師会会員情報システム運営事務局」にお問い合わせください。

なお、MAMISへの初回ログイン時は、「ログイン情報 (IDとパスワード)」の変更を求められます。

● 勤務先が変わる場合

MAMISから異動届の手続き（医師会の異動）をお願いします。

● 自宅住所が変わる場合

MAMISから登録情報の手続きをお願いします。

● 初期研修を終えて新たに勤務医としてスタートする場合

C会員（研修医）からB会員（勤務医）への会員区分変更手続きが必要です。

MAMISから①②のいずれかで異動届の手続きをお願いします。

① 会員区分のみの変更：異動届の手続き（会員区分の変更）をお願いします。

② 勤務先も変わる場合：異動届の手続き（医師会の異動）をお願いします。

卒後5年目まで会費無料ですので、引き続きB会員としてご継続ください。

● 卒後6年目を迎える場合

卒後5年間の会費無料期間が終了となるため、3月中に個別にMAMIS手続きの案内を郵送いたします。ぜひ、会員継続をお願いいたします。

【操作サポート】医師会会員情報システム運営事務局

メールアドレス：inquiry@mamis.med.or.jp

フリーダイヤル：0120-110-030

受付時間：平日10：00～18：00 ※年末年始を除く

※会員区分等、その他のお問合せは所属都市医師会もしくは県医師会にお問い合わせください。

【医師会員のメリット】

1 医師資格証（担当：総務課）

ネットワーク上で医師資格を証明することができます。
電子処方箋の発行には医師資格証を用いた電子署名が必要です。
また、医療機関などの採用時の資格確認や災害時・緊急時に
医師であることを証明することもできます。
会員は、新規発行手数料・年間利用料が無料です。



2 日本医師会医師賠償責任保険制度（担当：医師協同組合・総務課）

医師賠償責任保険制度は、万一医療事故が発生し、紛争にまで発展した場合、各郡市医師会および県医師会において相談に応じ、紛争解決を図るシステムです。

3 日本医師会医師年金（担当：経理課）

医師年金は、会員のための積立型私的年金で、現在3.3万人以上の会員が加入しています。64歳6か月未満であればいつでも加入でき、加算年金保険料の増減も自由です。
現在の予定利率は1.5%、手数料は保険料の0.25%と少額で、効率的に資産運用されています。

4 グループ生命共済（担当：医師協同組合）

会員ご本人と配偶者・お子様が加入できる生命保険です。
特長は、スケールメリットを生かした割安な保険料です。万一（死亡・高度障害）の場合、最大6,000万円と大きな保障が得られることに加え、1年ごとの収支計算により剰余金が出た場合には、配当金の支払いがあるため保険料の実質負担が更に軽減されます。

5 専門医共通講習（担当：学術広報課）

本会主催の日本専門医機構の専門医更新に必要な「専門医共通講習」の単位が取得できる研修会を、会員は無料で受講できます。

6 女性医師等支援（担当：地域医療課）

(1) 研修会時無料託児サービス

県医師会で開催される研修会や講演会に、時間を気にせず安心して参加していただけるよう、保育士がお子様を県医師会館内の託児ルームでお預かりします。

(2) 保育支援サービス

保育園や学童保育へのお迎え、習い事や塾への送迎、お子様の病気回復期のお預かり、残業や出張時などのお預かりなどを県医師会が養成した保育サポーターが支援いたします。

(3) 女性医師復職・再研修・キャリアアップ支援

女性医師の復職・再研修・キャリアアップを支援する医療機関および復職・再研修・キャリアアップを希望する女性医師を支援しています。

(4) 女性医師相談窓口

女性医師が抱えるさまざまなお悩みに、女性医師コーディネータが直接ご相談をお受けします。

(5) マタニティ白衣・スクラブ・パンツの無料貸し出し

妊娠中の医師が心地よく快適に過ごせるマタニティ白衣・スクラブ・パンツを2枚セットで貸し出します。

7 医師国民健康保険組合（TEL 0985-22-6588）

非常勤などで国保が適用となる会員とご家族が加入できます。市町村国保と比較して保険料が安く健診などの保健事業も充実しております。詳細は、二次元コードよりご確認ください。



(医師国保Webサイト)

MIYAZAKI Medical Cooperative Association

宮崎県医師協同組合 事業のご案内

宮崎県医師協同組合は、

1985年10月に設立されました。これからも相互扶助の精神に基づき、宮崎県医師会・県下の都市医師会と連携し、主に医業・保険・くらしのサポートを提供しながら、組合員先生方の経済的地位の向上と医業経営の支援に取り組みます。

主な事業内容



医業経営
支援事業

事業承継サポート事業
医師無料職業紹介
(ドクターバンク)



各種相談事業

当組合顧問弁護士による
無料法律相談
提携銀行による個別の金融相談



購買事業

医療用消耗品、医学書・書籍などの
カタログ販売・医療機器、
レセコン・電子カルテの斡旋
(医師協割引適用)



保険事業

団体割引を適用した
医師賠償責任保険、所得補償保険、
自動車・火災保険・団体定期保険
(グループ保険)などの販売



斡旋事業

分譲マンション・戸建住宅、
車両などの斡旋
(医師協割引適用)



カード事業

宮崎県内の医療従事者だけが
取得できる
永年会費無料の優遇カード
(当組合メディカルカード)の提供



MIYAZAKI Medical Cooperative Association

宮崎県医師協同組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1-101 宮崎県医師会館 1F

TEL **0985-23-9100** (平日 9:00~17:30)

FAX **0985-23-9179**

Mail **isiky@miyazaki.med.or.jp**



当組合HPを
ご覧ください

宮崎県医師協同組合LINE
友だち登録をお願いします。

二次元コードをスマートフォンで
読み込んで、友だち追加をお願いし
ます。



医業経営支援事業

1.事業承継

当組合が相談窓口になり、事業承継・開業・閉院相談に精通した専門家と提携して、サポートを行います。

2.医師無料職業紹介(ドクターバンク)

県内医療機関への就職を希望する先生方の支援を目的に、厚生労働大臣に届け出を行い、職業紹介を行っています。

3.無料法律相談窓口

組合員向けの無料法律相談の窓口を開設しております。医療機関を取り巻く法的トラブルに関する寄せられた相談案件は当組合顧問弁護士にご対応していただいております。初回相談はすべて無料です。

当組合までに相談内容を文書にて、メール等でお送りください。

例えば.....

- ・医業経営に関する諸問題
- ・モンスターペイシェント対応
- ・職員の労務管理
- ・医療機関における個人情報管理
- ・パワーハラスメント問題
- ・医療安全に関する内部的対応方法

4.医業経営塾

医業経営をテーマとした資産運用・税務・労務・相続に関するご希望の講座を選択し、組合員の先生並びにご家族を対象として、受講していただけます。



5.金融相談窓口

当組合提携先の金融機関に相談専用窓口を設置し、情報管理を徹底したうえで個別の金融相談に迅速に対応します。

小規模企業共済制度.....
国の機関である中小機構が運営し、掛金が全額所得控除できる税制メリットに加え、事業資金の借入れも可能な経営者のための退職金制度です。

6.セミナー開催

医療安全対策セミナー・医療機関税制セミナー・医療メディエーター養成研修会などを組合員の先生やご家族、医療従事者を対象に開催します。

保険事業

◆主な損害保険・生命保険取り扱い商品(全て団体契約割引等を適用)

1.医師賠償責任保険(保険料20%割引)

宮崎県医師会および宮崎大学医学部を契約者とした団体契約のため、万一の紛争対応も安心です。
保険料は、20%の最大団体割引を適用しています。

2.所得補償保険(保険料30%割引)

万一の病気やケガにより就業不能となった場合の収入減少に備える保険です。自宅療養、精神障害による休業も補償します。
告知書のみで加入手続きが可能で、1年間無事故の場合は払込保険料の20%をお戻しします。

3.団体傷害総合保険(保険料10%割引)

国内外を問わず先生ご自身やご家族がケガをされた場合、逆に先生ご自身やご家族が他人にケガをさせたり、他人の財物を壊してしまった場合などに総合的に補償します。

4.集団扱での契約(保険料5%割引)

自動車保険・火災保険が対象です。
契約者は組合員の先生に限りませんが、被保険者は、組合員の同居のご家族も対象になります。
保険料は、5%の集団扱一括割引を適用できます。
また、火災保険に限り、大口(日本医師休業共済会)団体割引が適用される場合がございます。

5.団体定期保険(グループ生命共済)

万が一の死亡保障(1,000万円から最大6,000万円)に備える生命保険です。

主な保険の特長.....

- ・廉価な保険料での契約
- ・剰余金が生じた場合、配当金の受け取り
- ・保障見直しが可能
- ・告知書のみの加入手続き
- ・配偶者および子ども(3歳~22歳)特約。
- ・80歳まで自動更新。

6.生命保険・資産形成の相談

リスクマネジメント・ラボラトリー社との業務提携において、各種保険の提案、個別相談並びに商品設計等を承ります。

全国医師協同組合連合会では、組合員先生方の団体加入、JMC厚生会の共済事業では万一の死亡保障と休業補償、全国医師休診共済会では主に勤務医(賛助会員)の先生方の団体加入が可能となりますのでお問い合わせください。

購買事業

1.医療用消耗品のカタログ販売

約4万点の医療用消耗品をwebでオーダーできます。または専用オーダーシートにてFAXでもご注文可能です。



2.医療機器

レセプトコンピューターや電子カルテなどの患者管理システムをはじめ超音波診断、X線撮影、心電図、内視鏡などの検査装置、リハビリ関連機器を販売します。



3.医学書・一般図書

書籍や医学雑誌の定期購読は医師協価格で購入できます。



4.白衣

ドクター・ナースウェアを医師協特別割引で購入できます。



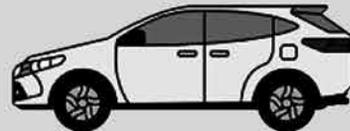
5.メディカルカード

県内の医療従事者のみ取得できます。(開業医・勤務医のご家族を含みます)、年会費は永年無料で、割引特典のあるカードです。宮崎山形屋や全国の阪急・阪神百貨店など県内外約300店の指定店では、メディカルカードを利用するだけで、割引特典を受けることができます。



6.自動車の購入

BMW・MINIなどの輸入車を組合員・賛助会員限定の特別割引にて、新車を購入いただけます。ディーラーの下取価格よりお得な自動車の売却や車購入時の初期費用が抑えられ、煩雑な車両管理も不要なカーリースもご紹介します。



7.新築一戸建て・分譲マンションの購入

主に戸建では積水ハウス・大和ハウス工業、分譲マンションはタカラレーベン・マリモ・穴吹工務店などと提携し、各種提携割引・特典で購入できます。



8.院内環境コンサルティング

建物清掃・外装洗浄・施設保安警備について、当組合と業務提携した信頼のある業者を紹介します。



9.一般・医療廃棄物

当組合提携業者の収集料金の集金代行を行います。



10.贈答品を組合員価格でご提供

宮崎の名産品で、特に季節の果物(マンゴー・日向夏・きんかんなど)を青果業者と提携して、組合員価格で提供します。



診療メモ



病院医療と在宅医療をつなぐ視点

宮崎市 いのうえ在宅クリニック いの うえ まさ ひろ 井 上 正 浩

患者にとって本当に必要な医療とは何か

我が国の医療は、高齢化の進行と疾病構造の変化を背景に、大きな転換期を迎えています。医療の中心は依然として病院にあります。すべての医療を病院のみで完結させることは現実的ではなくなりつつあります。

こうした中で在宅医療は、「病院医療の代替」ではなく、「病院医療と連続した医療」として、その重要性を増しています。患者にとって本当に必要なのは、病院医療か在宅医療かという二者択一ではなく、両者が適切につながっていることです。

在宅医療は病院医療の延長線上にある

在宅医療とは、通院が困難な患者の自宅や施設を医師が定期的に訪問し、計画的に診療を行う医療形態です。急性期治療や高度医療を担う病院医療とは役割が異なりますが、その本質は病院医療の成果を「生活の場」で継続・補完することにあります。

病院で診断され、治療方針が決まり、一定の安定を得たとしても、患者の療養生活は続きます。退院後の生活を医療的に支える仕組みがな

ければ、再入院を繰り返すことになりかねません。在宅医療は、病院医療を支えるもう一つの医療の柱と言えます。

病院だからできる医療、在宅だからできる医療
病院医療の最大の強みは、迅速な検査と診断、集中的かつ専門的な治療が可能に点にあります。急性期疾患や重症化時において、病院医療が果たす役割は代替不可能です。

一方、在宅医療では、患者の生活背景や価値観、家族の介護力を含めた医療判断が求められます。検査値や画像所見だけでなく、「どのよう暮らししているか」を前提とした医療は、病院とは異なる視点を必要とします。両者は競合するものではなく、役割分担によって患者を支えています。

がん末期患者を支える病院と在宅の連携

がん末期医療は、病院医療と在宅医療の連携の重要性が最も明確に表れる領域です。診断、治療方針の決定、抗がん治療、緩和ケア導入など、病院医療が担う役割は非常に大きなものです。

一方で、病状の進行とともに「住み慣れた自

宅で過ごしたい」と希望する患者も少なくありません。在宅医療では、疼痛や呼吸困難、倦怠感などの症状緩和を継続しながら、患者と家族の不安に寄り添う医療を提供します。

在宅療養中に状態が変化した場合には、病院での入院加療が必要になることもあります。こうした行き来が円滑に行われる体制こそが、患者にとっての安心につながります。

入退院を繰り返す慢性疾患患者への在宅医療の関与

慢性心不全、COPD、腎不全などで入退院を繰り返す患者は、病院医師にとっても大きな課題です。在宅医療では、定期的な診察や服薬管理、生活指導を通じて、増悪の兆候を早期に捉えることが可能です。

在宅での介入により入院を回避できる場合もあれば、在宅では対応困難と判断し、早期に病院へつなぐことが患者の安全につながる場合もあります。在宅医療は「入院を減らすための医療」ではなく、「適切なタイミングで病院医療につなぐ医療」でもあります。

医療から距離ができた患者へのアウトリーチ

在宅医療は、すでに医療につながっている患者だけでなく、医療から距離ができてしまった患者へのアウトリーチとしての役割も担っています。独居高齢者や受診中断状態の患者に対し、訪問を通じて医療との接点を再構築するケースも少なくありません。

こうした症例では、在宅医療の介入をきっかけに病院での精査や治療再開が必要になることも多く、病院医療との連携が不可欠です。

患者にとって最も重要なこと

患者にとって重要なのは、「病院医療か在宅医療か」という選択ではありません。必要なときに、必要な場所で、必要な医療を受けられることです。

急性期には病院が支え、安定期には在宅で生活が続ける。その循環が機能していることが、患者と家族の安心につながります。

おわりに

在宅医療は、病院医療を補完し、その価値を最大化する存在です。

病院勤務医が在宅医療の役割を理解し、顔の見える連携を築くことは、結果として患者の利益につながります。

病院と在宅が同じ方向を向き、医療をつないでいくことこそ、これからの地域医療に求められる姿ではないでしょうか。

宮大医学部学生のページ



部活動紹介 ～準硬式野球部～ 宮崎大学医学部準硬式野球部の魅力と挑戦 ——人とのつながりが生む成長と感動

宮崎大学医学部 医学科3年 ^{あり} ^{かわ} ^{ゆう} ^と 有 川 悠 斗

準硬式野球は、硬式野球の本格的なプレーの楽しさを追求しながら、軟式野球のような安全性も兼ね備えた競技です。競技の中心となる準硬式ボールは、中身に硬式球と同様の糸巻きコルク芯を使用し、外側は軟式球と同じ天然ゴム製のカバーで覆われています。このボールの特徴により、硬式野球に近いスピード感や力強さを楽しみつつ、比較的体への負担の少ない環境で競技できる点が大きな魅力です。特に、手や腕への衝撃を抑えることができるため、初心者や体力に不安がある方でも安心してプレーに参加できます。具体的には、球の特性が硬式野球に近いので、ピッチャーの速球やバッターの打撃の感覚、守備時のボールの動きなど、硬式野球と同じようなスリリングなプレーを体感できます。特に、ピッチャーとバッターの駆け引きや、守備の正確な連携プレーは準硬式野球ならではの醍醐味です。

医学生として勉学に励む日々の中で、心身をリフレッシュしつつ、仲間とともにスポーツの爽快感を味わうことができる準硬式野球は、まさに学生生活を豊かにする活動の一つと言えるでしょう。

宮崎大学医学部準硬式野球部は、プレーヤー16名、マネージャー10名の計26名が所属し、週に3回の練習を行っています。私たちの活動は、5月に開催される九州・山口医科学生体育大会（通称：九山）や、8月に開催される西日

本医科学生総合体育大会（通称：西医体）を目標に据えています。これらの大会は、医学部生が集まり競い合う場であると同時に、医学生同士の交流を深める貴重な場でもあります。

私たちのチームは、日々技術の向上とチーム力の強化に努め、目標達成に向けて努力を続けています。第76回西医体（2024年度 岡山大会）では、逆転勝利を3度も収め、そのうち2度はサヨナラ勝ちという劇的な展開もあり、奇跡的に決勝戦へと進むことができました。決勝戦では佐賀大学と対戦し、惜しくも1対3で敗れましたが、準優勝という初めての結果にチーム全員が喜びと悔しさを感じる忘れられない経験となりました。

その後、「あと1勝する」という目標を掲げ、練習の質をさらに高めることに注力しました。これまでの練習とは異なり、試合形式に近い緊張感を持ったトレーニングを増やし、個々の技術だけでなくチームとしての総合力を磨き上げました。第64回九山（2025年度 沖縄大会）では、再び佐賀大学との対戦機会が訪れましたが、0対7という大差で敗北を喫しました。この試合では、佐賀大学がさらにレベルアップしていたことを実感させられる結果となり、目標を「佐賀大学に勝つ」という具体的なものへと変更しました。

その後の第77回西医体（2025年度 鹿児島大会）では、第2シードとしてスムーズに決勝ま

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
2月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業の交付要綱等について（情報提供） ・令和7年度病院における医療情報システムのサイバーセキュリティ対策に係る調査について ・令和8年度以降の制度改正を踏まえた「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」の一部改正等について（予告） ・「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針の一部改正について」の一部訂正について ・令和8年1月21日からの大雪に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和8年1月21日からの大雪に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について ・令和8年1月21日からの大雪に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について ・令和8年1月21日からの大雪の被災者に関する既往歴等の提供について ・令和8年1月21日からの大雪に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について ・令和8年1月21日からの大雪に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その2） ・令和8年1月21日からの大雪に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その3）
2月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・2026年度日本医師会生涯教育制度について ・医師国家試験問題の公募についてご協力をお願い ・独立行政法人福祉医療機構による、物価高騰の影響を受けた医療施設等に対する優遇融資の拡充および病院の高額医療機器購入資金に係る融資の創設について ・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて ・医薬品・医療機器等の回収情報の提供方法について

送付日	文 書 名
2月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血糖測定機器等に係る添付文書の自主点検等について ・ 指定難病等医療費助成に係る医療保険における所得区分の照会等に係る事務の廃止について(スケジュールについて) ・ 2026年度日本医師会「医療安全推進者養成講座」の受講者募集について ・ 令和7年度「女性の健康週間」に対する協力依頼について ・ 第38回日本医学会公開フォーラム「AIがもたらすこれからの医療DX」の動画配信について (周知依頼) ・ 令和8年1月21日からの大雪に伴う災害の被災者に係る定期検査等の取扱いについて ・ 令和8年1月21日からの大雪に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・ 令和8年1月21日からの大雪に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について (その4) ・ 令和8年1月21日からの大雪に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について (その5) ・ 令和8年1月21日からの大雪に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について (その6)
2月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業に係る広報資材等について ・ 独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・ 令和7年度「自殺対策強化月間」における啓発活動等の推進について ・ 令和7年度障がい者虐待防止・権利擁護研修の実施について (依頼) ・ 検査料の点数の取扱いについて ・ 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について (一部改正)」について (通知) ・ 令和8年1月21日からの大雪に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について (その7)
2月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【重要】 2月中のベースアップ評価料の届出をご検討ください (その2) (まだ届出をされていない診療所・病院向け) ・ かかりつけ医機能報告制度のさらなる報告に向けて

送付日	文 書 名
2月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有料職業紹介事業等の利用に関するリーフレットの作成について（日医ニュース折り込み） ・ 血液凝固因子製剤に起因するHIV感染症患者に対する医療費の取扱いについて ・ エチオピア連邦民主共和国におけるマールブルグ病の終息について ・ 訪日外国人受診者医療費未払情報報告システムに係る運用変更及び説明会の開催について ・ 科学的介護情報システム（LIFE）第1回説明会の動画及び説明資料の公開について ・ 令和8年1月21日からの大雪に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その8）
2月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【重要】 2月中のベースアップ評価料の届出をご検討ください（その3）（「外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅱ）」の対象となる診療所向け） ・ 中医協答申書について（令和8年度診療報酬改定） ・ 令和8年度の介護職員等処遇改善加算の取得に係る処遇改善計画書の提出期限について ・ 2026年度日本医師会生涯教育制度の実施に関する留意事項について ・ 麻しん発生報告数の増加に伴う注意喚起について（協力依頼） ・ 麻しん発生報告数の増加に伴う注意喚起について（協力依頼） ・ チエナム点滴静注用0.5gの使用期限の取扱いについて ・ 国民生活センター「医師からの事故情報受付窓口」の周知について ・ AYA世代のがん患者向けパンフレットの周知・活用について ・ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令の公布について（通知）
2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイナ保険証・資格確認書の受付時のチェックリスト等について（周知依頼） ・ 要指導医薬品として指定された医薬品について ・ 訪日外国人受診者医療費未払情報報告システムに係る運用変更について（通知）
2月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度電子版お薬手帳の活用等に向けた周知のお願いについて（協力依頼） ・ 最適使用推進ガイドラインの取扱いに関する質疑応答集（Q&A）について ・ 血友病薬害被害者手帳第2版について
2月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【重要】 2月中のベースアップ評価料の届出をご検討ください（その4）（パソコンを使用せずに届出書類を作成する診療所向け） ・ 「医療機関におけるサイバーセキュリティ確保事業」の実施に係る支援対象病院の選定について（周知依頼） ・ 脳卒中・心臓病等総合支援センターの整備に関する指針について

送付日	文 書 名
2月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・「プレコンシンポジウム2026#いまを進めよう」の開催について ・令和8年度学校保健講習会の開催について ・オセルタミビル錠75mg「トーワ」の使用期限の取扱いについて ・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第三十六条の十一第一項の規定に基づき厚生労働大臣が指定する医薬品（告示）の適用について ・「使用上の注意」の改訂について ・亜硫酸塩を含有する医療用医薬品、医療機器及び再生医療等製品に係る「使用上の注意」の改訂について ・「がん登録等の推進に関する法律施行規則等の一部を改正する省令」の公布について（通知） ・移植希望者（レシピエント）選択基準の一部改正について ・メボリズムマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎）の一部改正について ・デュピルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎）の一部改正について

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書，研修会の案内など）

対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し，事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。

まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真、その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介、読みどころ、執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真、書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」、新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する、カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で、日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただきます場合があります。

■日州医事は、各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には、修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ、法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など、他の団体、個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など、特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し、法律で禁止されている行為など、その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認、難解、過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



11月からクリクラ1の病院実習が始まり、時が過ぎるのは早いものでもう半分が終わろうとしています。今までの座学とは違い、実臨床の場で医学の知識と技術が生かされている場面をたくさん目にすることができ、毎日がとても充実しています。また、同じ手術を見ても班の中で抱く感想が全く違っていたり、全員で初めて挑戦することでも最初からコツを掴むのが早い人がいたり、

ふとしたときにそれぞれの個性と相性が見える瞬間があります。こういうところから一人一人進む診療科が決まっていくのかな、と考えては自分の将来を意識する時間も増えました。日々をなんとなく過ごしてしまわないように気を引き締めながら、これからもがんばっていきたいです。

また、話題は変わりますが、先日、ひなたフェス2026の開催が発表されました。これは、日向坂46というアイドルグループが同じ「ひなた」の名前を持つ縁で宮崎をグループにとっての聖地にしたいというところから、2024年に初めて開催された単独フェスです。今回は、設営と当日の運営にアルバイトとして参加しました。会場のサンマリノスタジアムは屋外で、アリーナ席のパイプ椅子をひたすら並べながら、顔を上げるたびに夕方の空の色が変化してとても綺麗だったのを覚えています。開催は半年後ですが、当日のチケットがなくても楽しめる催しがすでに少しずつ始まっているみたいなのでぜひ調べてみてください。(安丸)

* * *

衆院選2026は自民党の歴史的な圧勝で終わりました。37年間この瞬間を待っておりました。与党で2/3以上を占めた高市政権2.0には、憲法改正を含めさまざまな改革に挑戦していただくように期待しております。外部の圧力に対して経済と国防の安全保障政策、また国内治安について速やかに対応いただきたい。日々誠実に働いている人々が報われる社会を願っております。(菊池)

* * *

1月に初めて韓国に行きました。約30年ぶりの海外は最低気温-8℃の極寒でした。手練れの看護師に引率され、頼まれた化粧品の買い出しに奔走する珍道中となりました。現地でのやりとりは、さながらロールプレイングゲームの攻略のようで楽しめました。WOWPASSやタクシー配車アプリも駆使し、現代の旅ではスマホが必須であることを痛感しました。スマホを手に異国を「攻略」する快感は、癖になりそうです。(下窪)

* * *

宮崎市では小中学校における包括的性教育の制度化にむけての準備がすすめられています。包括的性教育とは、人権を基盤とし年齢や発達段階に合わせてカリキュラムベースで学習していくことが特徴です。義務教育の最後の中学3年生(15歳)までに、人権意識を養い、性を肯定的にとらえ、性的同意年齢とされている16歳を迎えられるように、宮崎市だけでなく県内全域に広がることを願っています。

(高村)

なぜかとにかく忙しい。理想の在宅医療を行うため、老人施設の買収、訪問看護ステーションの設立、サテライトクリニックの開業などを考えている。それにともないMS法人の設立、銀行からの借り入れ…キリがない。医療法人のみではできることは限られる。営利目的の行為はできない。別にお金儲けがしたいわけではない。理想の在宅医療、在宅緩和医療を行いたいだけなのに…ままならんものだなあ。

(國枝)

* * *

年末に編み物にはまりました。初めに花束のブランケットを作り、そこから1か月で3つほど作品を作りました。勉強に疲れた時や手持ち無沙汰なとき、癖で携帯を触っていた時間が編み物に置き換わりました。中々よい趣味な気がしています。最近は百円均一ショップで手頃な価格で毛糸が手に入りますし、編み方もインターネットで検索すれば沢山出てきます。とてもオススメなので、みなさんも編み物を始めてみませんか?(宮本)

* * *

日医が開催したJMAT (Japan Medical Association Team: 日本医師会災害医療チーム) の研修会に参加してきました。日本医師会は災害対策基本法上の「指定公共機関」に位置付けられており、医師会が一体となって医療支援活動を行えるように、日医をトップとした組織が急速に整備されつつあります。災害発生時には、統括チーム、被災地チーム、全国の支援チームが協力して、被災者の生命と健康を守ることになります。行政や他職能チームと連携しながら、被災地に地域医療を取り戻すことが最終目的です。

(田畑)

今月のトピックス

日州医談 「かかりつけ医機能報告制度」について

本制度への対応が不十分な場合、将来的に国が医療機関に不利益を課す可能性があるようです。その目的、申請の手順を記載していただいています。ご確認ください。

4 ページ

随 筆 高木兼寛が遺した医療哲学—EBM, MCT, そしてACP—

どんどん引き込まれていきました。高木兼寛先生は高岡出身のビタミンの父というだけでなく、一世紀前にEBM, MCT, ACPを実践した偉人であったと知ることができました。

8 ページ

第125回九州医師会総会・医学会

特別講演Ⅱ「歴史に学び、未来を読む」の中で、家康が長期政権を築けた理由は、人材を排除せず活かす「寛容さ」であると演者は述べられたそうです。スタッフを大切に、感謝の気持ちをもってやっていきます。

38ページ

宮大医学部学生のページ 部活動紹介～準硬式野球部～

宮崎大学医学部準硬式野球部の魅力と挑戦——人とのつながりが生む成長と感動

同部OBとして後輩に伝えたいです。打ち込んでいる部活動は必ず、将来の糧になります。医療も野球と同じですよ。

70ページ

(文責：石田 康行)

日 州 医 事 第919号(令和8年3月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 菊池 英維

副 委 員 長 石田 康行

委 員 横山 晃子, 下窪 徹, 高橋 聡,

國枝 良行, 永野 元章, 高村 一紘

学 生 委 員 家村 和奈, 宮本貴由樹, 野間 貫太, 安丸 佳苗

担 当 副 会 長 金丸 吉昌

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究, 田畑 直人

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)